

教 授 要 目

付 研究指導要項

昭和46年度

小樽商科大学

# 小樽商科大学教授要目

## 目 次

I 授業科目履修方法	1
1 昭和46年度開講科目	1
2 履修方法	5
3 科目試験の受験について	30
II 教授要目	31
1 一般教育科目	31
2 外国語科目	35
3 保健体育科目	45
4 基礎教育科目	48
5 専門教育科目	50
6 教職科目	70
III 研究指導要項	74

# I 授業科目履修方法

1. 昭和46年度の開講科目は次のとおりである。

区分	授業科目	単位	配当年次	担当教官名	備考		
一般 教育 科目	人文科学系	哲学	4	II	川村教授	(後期)	
	心理学	4	I	和田助教授			
	歴史学	4	II	阿部助教授			
	日本文学	4	I	細谷教授			
	英文学	4	I・II	脇田教授			
	英語	4	II・III	松本教授			
	社会科学系	社会学	4	II	中島講師	北海道大学文学部 助教授	
		社会思想史	4	I	奥山講師	北海道大学文学部 助教授	
		教育学	4	III	田中教授	(前期)	
		法学(日本国憲法) (2単位を含む)	4	I	大谷助教授	(前期)	
政治学		4	III	加藤助教授	(後期)		
自然科学系	物理学	4	I	伊藤講師	北海道大学法学部 助教授(前期)		
	自然科学概論	4	II	松沢講師	北海道大学法学部 教授(後期)		
	化学	4	I	原田助教授			
外国語科目	英語	英語 { I	4	I II III	備考(1)参照		
		II	4				
		III	2				
	英語以外の外国語	ドイツ語 { I	4	I II II I I II	備考(2)参照		
		II	4				
		フランス語 { I	4				備考(3)参照
		II	4				
		中国語 { I	4				
	II	4					
	スペイン語	I	4	I	寺崎講師		
ロシア語 { I	4	I II	松本教授				
II	4						

保健体育科目	体育実技	I II	2	I II	杉山教授 藤江助教 中川講師	小樽商業高校教諭 (前期前半) 小樽協会病院長 (前期後半)
	体育講義		2	II	藤江助教 青木講師	
基礎教育科目	経済学概論		4	I	早見教授	(前期担当)
	商学概論		4	I	藤石教授	(後期担当)
	管理科学概論		4	I	伊藤教授	(前期担当)
	数学		4	I	古瀬教授	(後期担当)
専門教育科目	統計学		4	II	未定	(後期) (4/19)
	経済原論		4	II	藤井教授	(後期)
	経済変動論		4	III	増井教授	(後期) 北海道大学
	経済学特殊問題		4	II・III	降旗講師	経済学部助教
	計量経済学		4	III	松田助教	
	経済史概論		4	II	井上助教	41年度以前入学生にと っては「経済学科のみ」 の科目
	日本経済史		4	III	安孫子教授	(前期)
	経済政策		4	III	望月助教	北海道大学農学部助教 41年度以前入学生にと っては「経済学科のみ」 の科目
	農業経済学		4	III・IV	黒柳講師	41年度以前入学生にと っては「経済学科のみ」 の科目
	社会政策		4	III	吉武教授	41年度以前入学生にと っては「経済学科のみ」 の科目
	財政学		4	III・IV	早見教授	
	国際経済論		4	III	池間講師	
	貿易政策		4	IV	麻田教授	
	国除金融論		4	III・IV	足立教授	
	金融経済論		4	III	漆崎助教	
	銀行論		4	IV	漆崎助教	
	経済学研究指導		12	III・IV	備考(4)参照	
	マーケティング		4	II	片桐講師	(前期) 小樽商科大学 短期学部助教
商業英語		4	III	北村講師	小樽商科大学短期 学部教授	
保険論		4	IV	田村講師		
証券市場論		4	III	石原助教	(前期)	

専門教育科目	証券金融論	4	IV	鈴木助教	(集中) 名古屋市立 大学教授 (後期) 41年度以前入 学生にとっては「商業 学科のみ」の科目 (集中) 神戸大学経 営学部教授	
	経営学原理	4	II	篠崎助教		
	※経営学説史	2	IV	山本講師		
	労務管理	4	III	伊藤教授		
	※財務管理	2	IV	森講師		
	簿記学	4	II	久野教授		
	原価計算	4	III	久野教授		
	経営統計学	4	III	武隈教授		
	会計学	4	III	石河教授		
	監査論	4	IV	石河教授		
	外国書講読	4	III	石原助教		
	商業学研究指導	12	III・IV	備考(4)参照		
	管理科学特講 I	3	III・IV	天野講師		北海道工業大学助教 授(前期)
	" II	3	III・IV	浅利講師		東海大学講師 (前期)
	" III	3	III・IV	浅利講師		" (後期)
	" IV	3	III・IV	天野講師		北海道工業大学助教 授(後期)
	機械化会計	6	II	古瀬教授		
	応用数学(代数)	6	II	沼田助教		
	" (解析)	6	II	若林講師		
	" (統計 I)	6	III			
計算機論 I	6	II	清水川助教			
" II	6	III	戸島助教			
管理科学研究指導	12	III・IV	備考(4)参照			
憲法	4	II	秋山講師	小樽商科大学短期大 学部講師		
労働法	4	III	加藤助教			
経済法	4	IV	丹宗講師	北海道大学法学部 教授		
民法 I	4	II	神田助教			
商法 I	4	III	実方学長			
国際法	4	III	大谷助教			
国際機構論	4	IV	大谷助教			
法学関係研究指導	12	III・IV	備考(4)参照			

教 職 科 目	教育原理	4	Ⅲ	田中教授	北海道大学教育学部 助教授 札幌大学講師
	教育心理学	4	Ⅱ	若井講師	
	商業科教育法	2	Ⅲ	渡辺講師	
	教育実習	2	Ⅲ・Ⅳ	久野教授 鈴木助教授	
	教育史	4	Ⅱ	田中教授	(前期)
	職業指導	4	Ⅲ	石井講師	北海道教育大学 札幌分校教授
	英語(上級Ⅰ)	4	Ⅲ	宮岡助教授	
	〃(〃Ⅱ)	4	Ⅲ	永原助教授	
	英語学Ⅰ	4	Ⅲ	菅原助教授	
	英文学Ⅰ	4	Ⅰ	脇田教授	

備考

- 英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの担当教官は、次のとおりである。  
脇田教授、武本教授、永原助教授、宮岡助教授、菅原助教授、島村講師、アウフデンキャンプ外国人教師。
- ドイツ語Ⅰ・Ⅱの担当教官は、次のとおりである。  
小崎講師(北海道大学文学部助教授)、津川講師(北海道大学文学部講師)、小林講師(北海道工業大学助教授)、小川講師。
- フランス語Ⅰ・Ⅱの担当教官は、次のとおりである。  
中山講師(北海道大学文学部講師)、大賀講師(武蔵女子短期大学講師)(前期担当)、目黒助教授(後期担当)。
- 研究指導担当教官は次のとおりである。  
武隈教授、藤井教授、安孫子教授、吉武教授、早見教授、麻田教授、足立教授、増井教授、松田助教授、井上助教授、望月助教授、漆崎助教授、斎藤教授、伊藤教授、久野教授、石河教授、石原助教授、鈴木助教授、篠崎助教授、和田助教授、田村講師、管理科学研究指導Ⅰ(戸島助教授、清水川助教授)、管理科学研究指導Ⅱ(古瀬教授、沼田助教授)、加藤助教授、神田助教授、大谷助教授。

## 2 履修方法

学生は4年間在学し、次の事項に示された単位を修得することによって卒業資格が与えられる。

(1) 単位修得要領

各自が所属しようとする学科の卒業所要単位一覧表が別表としてA表からG表に分かれて掲げられているから、それぞれの表と「1」の昭和46年度開講科目とで本年度の履修科目を検討し履修届を提出しなければならない。

なお、表中の単位数は最低所要の単位数を示したものであるから履修の検討には十分な注意を必要とする。

また、昭和46年度入学者については、現在学則改正を検討中であり、とりあえず一般教育科目、外国語科目、保健体育科目および基礎教育科目の履修方法を参照し、履修すること。

- A表からJ表までは昭和42年度～昭和45年度入学者に適用されるものであり、それぞれ学科別に分かれているから学科所属を決めた場合にはそれぞれの表が適用される。なお、別表AからGまでを参照すること。
- H表は昭和42年度以降入学者で商業教員養成課程以外の学科に所属しようとする学生で高等学校商業二級普通免許状の取得を希望する学生はこのH表の単位をも修得しなければならない。
- J表は昭和42年度以降入学者で高等学校英語二級普通免許状の取得を希望する学生はこのJ表の単位をも修得しなければならない。
- 文学の単位は日本文学、外国文学のうち、いずれか1科目だけが卒業のための所要単位に算入される。ただし、昭和46年度入学者については、日本文学のほか外国文学のうちいずれか1科目が卒業所要単位に算入される。
- 昭和42年度以降入学者の英語(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)は1年次毎週4時間4単位、2年次毎週4時間4単位、3年次毎週2時間2単位、合計10単位が必修となる。
- 英語以外の外国語(独・仏・中・西・露語)は、いずれか1カ国語を選択必修とし、1年次毎週4時間4単位、2年次毎週4時間4単位、計8単位を履修しなければならない。
- 保健体育科目の実技2単位については昭和42年度以降入学者は1年次毎

週2時間2単位の $\frac{2}{3}$ 、2年次隔週に2時間2単位の $\frac{1}{3}$ 、計2単位が必修となる。

- (9) 教育学は、履修生の希望により「教育原理」に振替えることができる。
- (10) 「経営学原理」の授業科目は、昭和43年度以前入学者は、「経営学総論」と読み替える。
- (11) 英語（上級Ⅰ）、英語（上級Ⅱ）、英語学Ⅰ、および英文学Ⅰは高等学校英語2級普通免許状取得のための科目であるが、課外科目として履修できる。また、英文学Ⅰは一般教育科目の英文学と同じ講義であり、履修生の希望によりどちらかの単位になる。
- (12) 研究指導を履修する学生は毎週3時間3年次から2カ年継続授業で12単位（卒業論文を含む）を履修しなければならない。この12単位は昭和42年度以降入学者にあつてはそれぞれ所属する学科で履修しなければならない専門教育科目80単位の中に含まれている。ただし、教員養成課程にあつては他の学科の研究指導を履修しなければならない。
- 研究指導を履修しない学生は研究指導12単位分を所属する学科の専門教育科目の履修によって充足しなければならない。教員養成課程にあつては他の学科科目によって充足しなければならない。
- 昭和42年度から44年度入学者で管理科学科に所属しようとする学生の研究指導12単位は必修である。
- (13) 昭和41年度以前の入学者の履修方法については、昭和45年度以前の教授要目を参照すること。

## 2—1 昭和46年度入学者

イ 一般教育科目、外国語科目、保健体育科目および基礎教育科目の履修方法

区 分	単位数	備 考	
一般教育科目	人文科学系	4以上 1科目以上	
	社会科学系	4以上 1科目以上	〔商業教員養成課程にあつては法学（日本国憲法2単位を含む。）を含め1科目以上〕
	自然科学系	4以上 1科目以上	
	計	28	7科目以上
外国語科目	18	〔英語（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）必修 英語以外の外国語（5科目）のうちいずれか1科目〕	
保健体育科目	4	体育講義、体育実技	
基礎教育科目	8	2科目以上	
合 計	58		
(注) 一般教育科目（人文科学系）のうち、外国文学の単位については、そのいずれか1科目のみを卒業所要単位数に算入する。			

ロ 専門教育科目：経済学科、商業学科、管理科学科（管理科学コース、機械化会計コース）、および商業教員養成課程の区分、内容、単位の配分については、決定次第通知する。

なお、専門教育科目の卒業所要単位数は76単位、卒業所要単位数は134単位とする。

別表 一般教育科目および基礎教育科目

人文科学系	社会科学系	自然科学系	基礎教育科目
授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数
哲学 4	社会科学概論 4	物理学 4	経済学概論 4
倫理学 4	社会学 4	自然科学概論 4	商学概論 4
心理学 4	社会思想史 4	化学 4	管理科学概論 4
歴史学 4	教育学 4	生物学 4	数学 4
日本文学 4	法学(日本国憲法2単位を含む) 4		
英文学 4	政治学 4		
独文学 4			
仏文学 4			
中国文学 4			
露文学 4			
4単位以上	4単位以上	4単位以上	2科目以上 8単位
7科目以上 28単位			

2-2 昭和42年度～昭和45年度入学者

イ 一般教育科目, 外国語科目, 保健体育科目および基礎教育科目の履修方法

1 経済学科, 商業学科および管理科学科

区分	単位数	必修とする科目
一般教育科目	人文科学系	12 3科目以上
	社会科学系	8 2科目以上
	自然科学系	8 2科目以上
	計	28 7科目以上
外国語科目	18	{英語(I・II・III) 英語以外の外国語(5科目)のうち, いずれか1科目
保健体育科目	4	実技, 講義
基礎教育科目	16	経済学概論, 商学概論, 管理科学概論, 数学
合計	66	
備考 1. 一般教育科目(人文科学系)のうち, 日本文学および外国文学の単位については, そのいずれか1科目のみを卒業所要単位数に算入する。		
2. 高等学校教諭商業, 英語二級普通免許状の取得を希望し, それに必要な単位を取得した者が, 当該免許状の申請をする場合には基礎教育科目のうち「経済学概論」を社会科学系の, 「数学」を自然科学系の一般教育科目の単位に充てることができる。		

2 商業教員養成課程

区 分	単位数	必 修 科 目
一般教育科目	人文科学系	12 3科目以上
	社会科学系	12 経済学概論, 法学(日本国憲法2単位を含む。) 含め3科目以上
	自然科学系	12 数学を含め3科目以上
	計	36 9科目以上
外国語科目	18	(英語(I・II・III) 英語以外の外国語(5科目)のうち、 いずれか1科目)
保健体育科目	4	実技, 講義
基礎教育科目	8	商学概論, 管理科学概論
合 計	66	
備考 一般教育科目(人文科学系)のうち, 日本文学および外国文学の単位 については, そのいずれか1科目のみを卒業所要単位数に算入する。		

別表 一般教育科目および基礎教育科目

人文科学系	社会科学系	自然科学系	基礎教育科目
授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数
哲 学 4	社会科学概論 4	物 理 学 4	経済学概論 4
倫 理 学 4	社 会 学 4	自然科学概論 4	商 学 概 論 4
心 理 学 4	社会思想史 4	化 学 4	管理科学概論 4
歴 史 学 4	教 育 学 4	生 物 学 4	数 学 4
日 本 文 学 4	法学(日本国憲 法2単位を含む) 4		
外国文学	政 治 学 4		
	英 文 学 4		
	独 文 学 4		
	仏 文 学 4		
	中 国 文 学 4		
露 文 学 4			
3科目 12単位	2科目 8単位	2科目 8単位	全科目必修
7科目 28単位			4科目 16単位

ロ 専門教育科目の履修方法

A表 経済学科(昭和42~45年度入学者)

区 分	科目数等	単位数	必修とする科目
一般教育科目	人文科学系	3科目	12
	社会科学系	2科目	8
	自然科学系	2科目	8
	計	7科目	28
外国語科目	英語(I・II・III) を含め2カ国語	18	英語(I・II・III) 英語以外の外国語のうち1科目
保健体育科目	2科目	4	実技, 講義
基礎教育科目	4科目	16	経済学概論, 商学概論 管理科学概論, 数学
専門教育科目		80	統計学, 経済原論, 経済史概 論, 経営学原理, 会計学, 民 法I, 商法I
卒業所要単位数(計)		146	
備考 専門教育科目のうち選択科目の単位修得方法については学則第14条 別表第2「(2)イ, 経済学科」による。別表Aを参照。			

B表 商業学科(昭和42~45年度入学者)

区 分	科目数等	単位数	必修とする科目
一般教育科目	人文科学系	3科目	12
	社会科学系	2科目	8
	自然科学系	2科目	8
	計	7科目	28
外国語科目	英語(I・II・III) を含め2カ国語	18	英語(I・II・III) 英語以外の外国語のうち1科目
保健体育科目	2科目	4	実技, 講義
基礎教育科目	4科目	16	経済学概論, 商学概論 管理科学概論, 数学
専門教育科目		80	マーケティング, 経営学原理, 労 務管理, 簿記学, 会計学, 統計学, 経済原論, 民法I, 商法I
卒業所要単位数(計)		146	
備考 専門教育科目のうち選択科目の単位修得方法については学則第14条 別表第2「(2)ロ, 商業学科」による。別表Bを参照。			



C表 管理科学科〔管理科学コース〕（昭和42～44年度入学者）

区 分	科目数等	単位数	必修とする科目
一般教育科目	人文科学系	3 科目	12
	社会科学系	2 科目	8
	自然科学系	2 科目	8
	計	7 科目	28
外国語科目	英語(I・II・III)を含め2カ国語	18	英語(I・II・III) 英語以外の外国語のうち1科目
保健体育科目	2 科目	4	実技, 講義
基礎教育科目	4 科目	16	経済学概論, 商学概論 管理科学概論, 数学
専門教育科目		80	研究指導(管理科学研究指導 Iまたは管理科学研究指導II) 統計学, 経済原論
卒業所要単位数(計)		146	
備考 専門教育科目のうち選択科目の単位修得方法については学則第14条別表第2「(2)ハ、管理科学科〔管理科学コース〕」による。別表Cを参照。			

D表 管理科学科〔機械化会計コース〕（昭和42～44年度入学者）

区 分	科目数等	単位数	必修とする科目
一般教育科目	人文科学系	3 科目	12
	社会科学系	2 科目	8
	自然科学系	2 科目	8
	計	7 科目	28
外国語科目	英語(I・II・III)を含め2カ国語	18	英語(I・II・III) 英語以外の外国語のうち1科目
保健体育科目	2 科目	4	実技, 講義
基礎教育科目	4 科目	16	経済学概論, 商学概論 管理科学概論, 数学
専門教育科目		80	研究指導(機械化会計研究指導), 統計学, 経済原論, 簿記学, 会計学
卒業所要単位数(計)		146	
備考 専門教育科目のうち選択科目の単位修得方法については学則第14条別表第2「(2)ハ、管理科学科〔機械化会計コース〕」による。別表Eを参照。			

E表 管理科学科〔管理科学コース〕（昭和45年度入学者）

区 分	科目数等	単位数	必修とする科目
一般教育科目	人文科学系	3 科目	12
	社会科学系	2 科目	8
	自然科学系	2 科目	8
	計	7 科目	28
外国語科目	英語(I・II・III)を含め2カ国語	18	英語(I・II・III) 英語以外の外国語のうち1科目
保健体育科目	2 科目	4	実技, 講義
基礎教育科目	4 科目	16	経済学概論, 商学概論 管理科学概論, 数学
専門教育科目		80	別表Dを参照
卒業所要単位数(計)		146	
備考 専門教育科目のうち選択科目の単位修得方法については学則第14条別表第2「(2)ハ、管理科学科〔管理科学コース〕」による。別表Dを参照			

F表 管理科学科〔機械化会計コース〕（昭和45年度入学者）

区 分	科目数等	単位数	必修とする科目
一般教育科目	人文科学系	3 科目	12
	社会科学系	2 科目	8
	自然科学系	2 科目	8
	計	7 科目	28
外国語科目	英語(I・II・III)を含め2カ国語	18	英語(I・II・III) 英語以外の外国語のうち1科目
保健体育科目	2 科目	4	実技, 講義
基礎教育科目	4 科目	16	経済学概論, 商学概論 管理科学概論, 数学
専門教育科目		80	別表Fを参照
卒業所要単位数(計)		146	
備考 専門教育科目のうち選択科目の単位修得方法については学則第14条別表第2「(2)ハ、管理科学科〔機械化会計コース〕」による。別表Fを参照。			

G表 商業教員養成課程 (昭和42~45年度入学者)

区 分	科目数等	単位数	必修とする科目
一般教育科目	人文科学系	3科目	12
	社会科学系	3科目	12
	自然科学系	3科目	12
	計	9科目	36
外国語科目	英語(I・II・III)を含め2カ国語	18	英語(I・II・III) 英語以外の外国語のうち1科目
保健体育科目	2科目	4	実技, 講義
基礎教育科目	2科目	8	商学概論, 管理科学概論
専門教育科目		60	統計学, 経済原論, 経営学原理, 簿記学, 会計学, 民法I, 商法I
教職科目	6科目	20	教育原理, 教育心理学, 商業科教育法, 教育実習, 教育史, 職業指導
卒業所要単位数(計)		146	
備考 専門教育科目のうち必修科目以外の科目の履修は, 経済学科, 商業学科, 管理科学科, 法律関係科目の全科目から履修することができる。別表Gを参照。			

H表 商業科教員免許資格取得希望者 (昭和42年度以降入学者)

区 分	単位数	必修とする科目
一般教育科目 (社会科学系)		法学(日本国憲法2単位を含む)
教職に関する 専門科目	16	教育原理4単位, 教育心理学4単位, 商業科教育法2単位, 教育実習2単位, 教育史4単位
教科に関する 専門科目	4	職業指導
合 計	20	
備考 この表は商業教員養成課程以外の学科に所属する学生に適用するもので, それぞれの学科の卒業所要単位数のほかに上記の単位数を修得しなければならない。		

J表 英語科教員免許資格取得希望者 (昭和42年度以降入学者)

区 分	単位数	必修とする科目	選択科目
一般教育科目 (社会科学系)		法学(日本国憲法2単位を含む)	
教科に関する 専門科目	32	英語(上級I),(上級II)12 " (上級III)(上級IV)16 英語学I, 英語学II 16 英文学I, 英文学II 16	商業英語4単位
教職に関する 専門科目	17	教育原理4単位, 教育心理学4単位, 英語科教育法3単位, 教育実習2単位, 教育史4単位	
合 計	49		
備考 1. それぞれ所属する学科の卒業所要単位数のほかに上記単位数を修得しなければならない。ただし, 商業教員養成課程の学生は, 教科に関する専門科目の単位数と, 教職に関する専門科目のうち英語科教育法を修得すればよい。 2. 教職に関する専門科目のうち「教育原理」「教育心理学」「教育実習」「教育史」は, H表, J表双表の場合に併合できる。			

別表A 経済学科一専門教育科目履修方法 (昭和42~45年度入学者)

必修科目	選 択 科 目			計
	経済学科の授業科目	商學科の授業科目	管理科学の授業科目	
統計学	数理統計学	マーケティング	管理科学I	4
経済学原論	経済統計学	販売管理	管理科学II	4
経済史概論	経済変動論	商品学	管理科学I	4
経営学原理	経済学史	貿易論	管理科学II	3
会計学I	経済問題学	商業英論	管理科学III	3
民法	特殊経済学	交通論	管理科学IV	3
	計量経済学	保険論	機械化学	6
	経済政策	証券市場論	事務機械化	6
	日本経済史	証券金融論	情報処理	6
	工業経済学	海外証券事情	応用数学	6
	農業経済学	企業分析論	(代数)	6
	社会政策学	有価証券論	応用数学	6
	財政学	企業形態論	(解析)	6
	国際経済論	経営学史	応用数学	6
	貿易政策	経営学説史	(統計I)	6
	国際金融論	労務管理	応用数学	6
	金融経済論	生産管理	(統計II)	6
	銀行論	財務管理	応用数学特講I	3
		産業心理学	応用数学特講II	3

簿記学	簿記学	計算機論I	6		
簿記演習	簿記演習	計算機論II	6		
原価計算	原価計算				
経営統計学	経営統計学				
監査論	監査論				
管理会計	管理会計				
外国書読	外国書読				
				16	12
					80
卒業所要単位数	卒業所要単位数				146

備考 研究指導を履修しない者は、経済学科の科目について「研究指導」12単位に相当する単位を修得し  
なければならぬ。





別表D 管理科学科(管理科学コース)一専門教育科目履修方法

選択必修科目	選		択	
授業科目 単位数	管理科学科の授業科目 単位数		経済学科の授業科目 単位数	
統計学 4	管理科学 I 4	管理科学 I 4	数理統計学 4	
経済原論 4	管理科学 II 4	管理科学 II 4	経済統計学 4	
経営学原理 4	管理科学 I 3	管理科学 I 3	経済変動論 4	
会計学 4	管理科学 II 3	管理科学 II 3	経済学史 4	
のうから	管理科学 III 3	管理科学 III 3	経済学特殊問題 4	
	管理科学 VI 3	管理科学 VI 3	計量経済学 4	
	機械化会計 6	機械化会計 6	経済史概論 4	
	事務機械化 6	事務機械化 6	日本経済史 4	
	情報処理 6	情報処理 6	経済政策 4	
	応用数学(代数) 6	応用数学(代数) 6	工業経済学 4	
	応用数学(解析) 6	応用数学(解析) 6	農業経済学 4	
	応用数学(統計 I) 6	応用数学(統計 I) 6	社会政策 4	
	応用数学(統計 II) 6	応用数学(統計 II) 6	財政学 4	
	応用数学 I 3	応用数学 I 3	国際経済論 4	
	応用数学 II 3	応用数学 II 3	貿易政策 4	
	計算機論 I 6	計算機論 I 6	国際金融論 4	
	計算機論 II 6	計算機論 II 6	金融経済論 4	
8	36	24		

卒業所要

備考: 1 研究指導を履修しない者は、管理科学科の科目について「研究指導

(昭和45年度入学者)

科		目		計
商業学科の 授業科目	単位数	法学関係の 授業科目	単位数	
マーケティング 4		憲法 4		管理科学科 研究指導 12
販売管理 4		民法 I 4		
商品学 4		民法 II 4		
貿易論 4		労働法 I 4		
商業英語 4		労働法 II 4		
交通論 4		商経法 I 4		
保険論 4		商経法 II 4		
証券市場論 4		国際法 4		
証券金融論 4		国際機構論 4		
海外証券事情 4				
企業分析 4				
有価証券論 4				
経営学原理 4				
企業形態論 4				
経営学説史 4				
労務管理 4				
生産管理 4				
財務管理 4				
産業心理学 4				
簿記学 4				
簿記演習 4				
原価計算 4				
経営統計学 4				
監査論 4				
管理会計 4				
外国書講読 4				
			12	80

単位数

」12単位に相当する単位を修得しなければならない。

別表E 管理科学科(機械化会計コース)一専門教育科目履修方法

必修科目	選 択		
	授業科目 単位数	管理科学科の授業科目 単位数	経済学科の授業科目 単位数
統計学 4	機械化会計 6	管理科学 I 4	数理統計学 4
経済原論 4	事務機械化 6	管理科学 II 4	経済統計学 4
簿記学 4	情報処理 6	管理科学 I 3	経済変動論 4
会計学 4	計算機論 I 6	管理科学 I 3	経済学史 4
研究指導 12	計算機論 II 6	管理科学 II 3	経済学問題 4
	管理科学 I 3	管理科学 III 3	計量経済学 4
	管理科学 II 3	管理科学 IV 3	経済史概論 4
	管理科学 III 3	応用数学 (代数) 6	日本経済史 4
	管理科学 IV 3	応用数学 (解析) 6	経済政策 4
		応用数学 (統計 I) 6	工業経済学 4
		応用数学 (統計 II) 6	農業経済学 4
		応用数学 I 3	社会政策学 4
		応用数学 II 3	財政学 4
			国際経済論 4
			貿易政策 4
			国際金融論 4
			金融経済論 4
			銀行論 4
28	24	12	
卒業所要			
備考: 研究指導については、「機械化会計研究指導」を履修しなければなら			

(昭和42~44年度入学者)

科 目			計
商業学科の授業科目 単位数	法学関係の授業科目 単位数	商業学科の授業科目 単位数	
マーケティング 4	憲法 4	マーケティング 4	
販売管理学 4	民法 I 4	販売管理学 4	
商品学 4	民法 II 4	商品学 4	
商貿易論 4	労働法 I 4	商貿易論 4	
商業英語 4	労働法 II 4	商業英語 4	
交通論 4	商経法 I 4	交通論 4	
保険論 4	商経法 II 4	保険論 4	
証券市場論 4	国際法 4	証券市場論 4	
証券金融論 4	国際機構論 4	証券金融論 4	
海外証券事情 4		海外証券事情 4	
企業分析 4		企業分析 4	
有価証券論 4		有価証券論 4	
経営学原理 4		経営学原理 4	
企業形態論 4		企業形態論 4	
経営学説史 4		経営学説史 4	
労働管理 4		労働管理 4	
生産管理 4		生産管理 4	
財務管理 4		財務管理 4	
産業心理学 4		産業心理学 4	
簿記演習 4		簿記演習 4	
原価計算 4		原価計算 4	
監査論 4		監査論 4	
管理会計 4		管理会計 4	
外国書講読 4		外国書講読 4	
		16	80
単位数			146
ない。			

別表F 管理科学科（機械化会計コース）—専門教育科目履修方法

必修科目		選 択					
授業科目	単位数	管理科学科の授業科目 単位数		経済学科の授業科目 単位数			
統計学	4	機械化会計	6	管理科学 I	4	数理統計学	4
経済原論	4	事務機械化	6	管理科学 II	4	経済統計学	4
簿記学	4	情報処理	6	管理科学 I 特講	3	経済変動論	4
会計学	4	計算機論 I	6	管理科学 II 特講	3	経済学史	4
		計算機論 II	6	管理科学 III 特講	3	経済学特殊問題	4
		管理科学 I 特講	3	管理科学 IV 特講	3	計量経済学	4
		管理科学 II 特講	3	管理科学 I (代数)	6	経済史概論	4
		管理科学 III 特講	3	管理科学 II (解析)	6	日本経済史	4
		管理科学 IV 特講	3	応用数学 (統計 I)	6	経済政策	4
				応用数学 (統計 II)	6	工業経済学	4
				応用数学 I 特講	3	農業経済学	4
				応用数学 II 特講	3	社会政策	4
						財政学	4
						国際経済論	4
						貿易政策	4
						国際金融論	4
						金融経済論	4
						銀行論	4
16		24		28			

卒業所要

備考： 研究指導を履修しない者は、管理科学科の科目について、「研究指導

(昭和45年度入学者)

科 目			計	
商業学科の 授業科目	単位数	法学関係の 授業科目	単位数	研究指導 単位数
マーケティング	4	憲法	4	管理科学科 研究指導 12
販売管理	4	民法 I	4	
商品学	4	民法 II	4	
貿易論	4	労働法 I	4	
商業英語	4	労働法 II	4	
交通論	4	商法 I	4	
保険論	4	商法 II	4	
証券市場論	4	経済法 I	4	
証券金融論	4	経済法 II	4	
海外証券事情	4	国際法	4	
企業分析	4	国際機構論	4	
有価証券論	4			
経営学原理	4			
企業形態論	4			
経営学説史	4			
労務管理	4			
生産管理	4			
財務管理	4			
産業心理学	4			
簿記演習	4			
原価計算	4			
経営統計学	4			
監査論	4			
管理会計	4			
外国書講読	4			
12			12	80

単位数

」12単位に相当する単位を修得しなければならない。



別表G 商業教員養成課程—専門教育科目履修方法

必修科目		選					
専門教育科目	単位数	教職科目	単位数	経済学科の授業科目	単位数	商業学科の授業科目	単位数
統計学	4	教育原理	4	数理統計学	4	マーケティング	4
経済原論	4	教育心理学	4	経済統計学	4	販売管理	4
経営学原理	4	商業科教育法	2	経済変動論	4	販商品学	4
簿記学	4	教育史	4	経済学史	4	貿易論	4
会計学	4	教育実習	2	経済学	4	商業英語	4
民法I	4	職業指導	4	経済学特殊問題	4	交通論	4
商法I	4			計量経済学	4	保険論	4
				経済史概論	4	証券市場論	4
				日本経済史	4	証券金融論	4
				経済政策	4	海外証券事情	4
				工業経済学	4	企業分析論	4
				農業経済学	4	有価証券論	4
				社会政策	4	企業形態論	4
				財政学	4	経営学説史	4
				国際経済論	4	労働管理	4
				貿易政策	4	生産管理	4
				国際金融論	4	財務管理	4
				金融経済論	4	産業心理学	4
				銀行論	4	簿記演習	4
						原価計算	4
						経営統計学	4
						監査論	4
						管理会計	4
						外国書講読	4
	28		20				20
卒業所要							
備考： 1 研究指導については、経済学科研究指導・商業学科研究指導・管							
する。							
2 研究指導を履修しない者は、経済学科，商業学科，管理科学科お							
ればならない。							

(昭和42~45年度入学者)

択			科目		計
管理科学科の授業科目	単位数	法学関係の授業科目	単位数	研究指導	
管理科学I	4	憲法	4	備考の「1」を参照のこと。	12
管理科学II	4	民法II	4		
管理科学特講I	3	労働法	4		
管理科学特講II	3	商法II	4		
管理科学特講III	3	経済法	4		
管理科学特講IV	3	国際法	4		
機械化会計	6	国際機構論	4		
事務機械化	6				
情報処理	6				
応用数学(代数)	6				
応用数学(解析)	6				
応用数学(統計I)	6				
応用数学(統計II)	6				
応用数学特講I	3				
応用数学特講II	3				
計算機論I	6				
計算機論II	6				
				12	80
単位数					146
理科学研究指導および法学関係研究指導のうちいずれかひとつを履修するものと					
よび法学関係の科目について、「研究指導」12単位に相当する単位を修得しな					

### 3 科目試験の受験について

定期試験（前期，後期）およびこれに準ずる試験を受験する場合，次の注意事項を厳守して，不利益をうけることのないよう十分留意してください。

#### ★受験に際しての注意事項（科目試験実施要項の要約）

1. 指定された席に着席すること。（指定の席は，受験届の提出により決定され，また試験開始5分前には着席し，待機すること。）
2. 身分証明書の携帯がなければ受験できない。
3. 試験時刻におくれた者は原則として受験できない。ただし，20分以内の遅刻者は，事情により監督者の許可を受けて受験できる場合もある。
4. 試験開始20分以内は退場できない。
5. 試験終了10分前以後は退場できない。
6. 教科書，参考書，ノートなどの不要の所持品は鞆等に納め，机の中にそれらを入れないこと。
7. 教科書，参考書，ノートなどの参照を許された試験においては，それらの貸借を禁止する。受験生の間で，貸借のあった場合は，それを不正行為とみなす。
8. 配布された答案用紙は必ず提出し，持ち帰ることのないこと。
9. 試験場において，私語，その他いやしくも疑惑を招くような行為のないよう特に留意し，厳正な態度で受験すること。
10. その他試験場内において監督者の指示に従わない場合は退場させられる。

以上

## II 教授要目

### 1. 一般教育科目

#### 哲 学

教授 川 村 三千雄

1. 哲学の一般的意味について
2. 哲学の理論的意味について
3. 哲学の実践的意味について
4. 愛知としての哲学
5. 哲学の始源について
6. 哲学の諸問題
  - (イ) 人間と技術
  - (ロ) 人間と自然
  - (ハ) 哲学の現代的問題

#### 心 理 学

助教授 和 田 完

行動の科学としての現代心理学の特質を理解してもらうことに主眼を置く。まず生活体の行動を研究対象とすることの意義を論じ，そこから派生する心理学の方法や，他の生物科学，社会科学との関連を問題とする。次に，動機づけ，知覚，学習等の個々のトピックに触れ，心理学上の一般法則や構成概念を説明する。これらはいずれも実験心理学から得られる情報であるが，最後に実験的手法から離れ，社会心理学的視野から人間の行動を概観する。ここでは特にパーソナリティへ焦点が合わされよう。

テキスト：和田完他著「人間行動の諸相」。

#### 歴 史 学

助教授 阿 部 謹 也

#### 日本文学

教授 細 谷 直 樹

『徒然草』は今日のわれわれにも親しみやすい古典だが，一步入り込むと，その世界はどこまでもひろがって，どうもうまく読めない。うまく読

むということは、相手に本音を聞かせてもらうことなのだが、相手はなかなか本音を吐かない。しかし、こちらの耳の澄まし方を正せば、『徒然草』そのものの中から、執筆の意図とその世界の秘密を語る兼好の声が聞えて来そうな予感がする。この予感は予感だけのものなのか、それともはっきりと確かめることのできるものなのかを考えながら、本年度は『徒然草』を読みたく思う。

教科書、西尾実校注『徒然草』（岩波文庫）

## 英文学（英文学Ⅰ）

教授 脇田 勇

テキスト アイヴァ・エヴァンス：小英文学史

朱牟田外3名共訳 北星堂 ￥500

英文学を概観し、その特質を究明する。

（参考文献）Harvey: *The Oxford Companion to English Literature*

Oxford Univ. Press

英米文学辞典 研究社

## ロシア文学

教授 松本 忠司

主題 ゴーリキイとロシア・インテリゲンツィヤ

講義内容

1. ロシア・インテリゲンツィヤ精神史概要
2. 19世紀末～20世紀初頭のロシア文学の諸問題
3. ゴーリキイ、人と作品
4. ゴーリキイにおける文学遺産の継承と革新の問題
5. ゴーリキイとロシア革命

## 社会学

非常勤講師  
(北大文学部助教授) 中島 寅雄

### I 社会学—その成立と展開

1. 社会学の成立
2. 社会名目論と社会实在論
3. 社会学の対象と方法

### 4. 社会学の現実化

### II 社会の構造と変動

1. 日本の階級・階層構成
2. 社会的移動
3. ナショナリズムの発現形態
4. 大衆社会状況

### III 社会学特殊研究の成果と課題

1. 社会学における〈集団〉の位置及び集団類型論
2. 家族論の成果と課題
3. 地域社会論の成果と課題
4. 企業と労働に関する社会学研究への成果と課題

### IV <人間科学>的見地と関連領域

1. パースナリティ論, 社会心理
2. コミュニケーション論

### V 社会学の応用領域

1. 社会保障の概念と社会学の寄与
2. 社会福祉の概念と社会学の寄与

### VI 社会学研究方法としての社会調査

1. 社会調査一般論—意義と目的
2. 悉皆調査と標本調査
3. モノグラフィック・メソッド—研究対象と方法
4. 集計・整理の手続き

## 社会思想史

非常勤講師  
(北大文学部助教授) 奥山 次良

## 教育学

教授 田中 昭徳

### I 社会現象としての教育

### II 人間の形成と社会の変革

### III 国家教育権と国民教育権

### IV 教育制度・教育行政

### V 教育改革の動向

## 法 学 (日本国憲法 2 単位を含む)

前期 助教授 大 谷 良 雄  
後期 助教授 加 藤 俊 平

## 政 治 学

前期 非常勤講師 (北大法学部助教授) 伊 藤 大 一  
後期 非常勤講師 (北大法学部教授) 松 沢 弘 陽

## 物 理 学

助教授 原 田 稔

## 自然科学概論

助教授 原 田 稔

## 化 学

教 授 斎 藤 要

化学は一つの教育体系を持っている学問であるが、それは化学を専門とする学生にとっては都合よくできているようである。この体系を希釈したり、あるいは一部を拡大して非専門の学生に講義するのであるが、本年度は基礎化学部門として、物質の化学的実体・原子及び分子概念・元素の周期律・新元素の合成並びに有機化学の分野としてベンゼンの化学構造などに関する基礎的な仮説とか法則を中心として、その真理性を唯物論的な立場により検討し、化学の本性とか対象を認識してゆく方法論を学びたいと思う。

また応用化学部門としては、技術革新に対応する化学工業、特に石油化学の一端とその発展がもたらす諸問題についても検討したいと思う。

なお教科書は使用しないが、参考書は必要に応じて紹介し、さらに時間が許せばモデル実験を行なう。

## 2. 外国語科目

### 英 語

#### (A) 英語履修方法

- (1) 英語の授業は、教室内における2時間の講義に対し、教室外における1時間の学習を必要とするものとし、毎週2時間通年30週の講義をもって2単位とする。(学則第12条の2参照)
- (2) 昭和42年度以降入学者の英語(I, II, III)は1年次毎週4時間4単位、2年次毎週4時間4単位、3年次毎週2時間2単位、合計10単位が必修となる。(学則第10条および第11条別表第1の(2)参照)
- (3) 昭和46年度の英語クラス配置および教科の種別は別表の通りである。
- (4) 別表のうち、Eではじまる3ケタの数字はクラス別をあらわす記号である。3ケタ目の1, 2, 3は履修基準年次で、2ケタ目は教科の種別を示している。0は文学作品の講読、1は評論、伝記等の文学作品以外の講読で、2は会話作文である。1ケタ目の1, 2, 3……はクラス別を示す。
- (5) 1年次の講読は、それぞれの基準年次に2単位ずつ合計4単位を、全員がかならず履修しなければならない。種別の選択は自由である。つまり1年次生は、文学作品とその他の講読のうちからいずれか2単位のほかに、他のクラスの講読か会話いずれか2単位合計4単位、2年次生は同じく講読2単位と他のクラスの講読か会話作文いずれか2単位合計4単位、3年次生は講読と会話作文のうちから2単位を選択履修することになる。
- (6) 履修する学生は別表と「教授要目」をよく読み、自主的にクラスを選択すること。
- (7) 各クラスの募集定員は別表の備考に示されている。定員の決定は先着順を原則とする。学期途中におけるクラスの変更は、認めない。
- (8) 履修登録の場所、期日等はガイダンスのとき指示する。

(B)別表 [昭和46年度英語クラス配置表]

講	文学作品	E 101) 島 村 E 102) 島 村 E 103) 永 原 E 104) 永 原	E 201) 島 村 E 202) 島 村 E 203) 永 原 E 204) 永 原	E 301 島 村 E 302 脇 田
	評語 論学 ・伝 書記等	E 111) 菅 原 E 112) 菅 原 E 113) 宮 岡 E 114) 宮 岡 E 115) 武 本 E 116) 武 本	E 211 菅 原 E 212 宮 岡 E 213) 武 本 E 214) 武 本	E 311 菅 原 E 312 宮 岡
会 話 ・ 作 文	E 121) } E 122) } アウフデ E 123) } E 124) } E 125) } E 126) } ンキャンプ	E 221) アウフデ E 222) ンキャンプ E 223) (未定) E 224) (未定) E 225) 脇 田 E 226) 脇 田	E 321) アウフデ E 322) ンキャンプ E 323 武 本	
備 考	募集定員 講 読 53名 会 話 作 文 35名	募集定員 講 読 60名 講 話 50名 作 文 35名	募集定員 講 読 60名 会 話 作 文 35名	

(C) クラス及びテキスト

(英 語 I)

E 101 講師 島 村 東太郎

テキスト：T. Wilder, *The Bridge of San Luis Rey* (大坂教育図書)  
¥ 300

E 102 講師 島 村 東太郎

テキスト：L.Q. Ross, *The Education of Hyman Kaplan* (英宝社)  
¥ 450

E 103 助教授 永 原 和 夫

テキスト：John Steinbeck, *Of Mice and Man* (南雲堂) ¥ 380

E 104 助教授 永 原 和 夫

テキスト：Carson McCullers, *The Heart is a Lonely Hunter*  
(Penguin) ¥ 360

E 111) 助教授 菅 原 光 穂  
E 112)

テキスト：Culture and Humanity (青山出版) ¥ 600  
A Comprehensive understanding of English (Contents:  
The Evolution of Social Life; The Transition of Humanity;  
Language in Human Psychology; Equality and Inequality  
in Human Societies; Culture and Personality).

E 113) 助教授 宮 岡 伯 人  
E 114)

テキスト：H. Bradley: *The Making of English* (成美堂) ¥ 650

E 115) 教 授 武 本 昌 三  
E 116)

テキスト：Umbreit et al., *Economics: An Introduction to Principles  
and Problems*  
この1冊だけを精読する。内容については Summarization と  
質疑応答をすべて英語でおこなえるよう training する。

E121~126 外国人教師 Richard D. Aufdenkampe

テキスト：(1) *Intensive Course in English, Part I Elementary Current  
American English* (Oxford U.P.) ¥ 500  
(2) *English 900, Basic Course One and Two*

(3) *Improving Your Pronunciation*

The objectives of this course are to focus on the improvement of the student's hearing and speaking ability. In order to obtain these objectives the following requirements will be enforced.

(A) Attendance will be taken and any student missing more than 1/3 of the class periods will not be given a final grade.

(B) Every two weeks a quiz will be given in the language lab. If a student fails to take 1/4 of these quizzes he will not be given a final grade.

(C) Every alternate week a one page essay will be required. This essay will be used as a foundation for an oral discussion period. If a student fails to hand in 1/4 of these discussion papers he will not be given a final grade.

(英語 II)

E 2011 講師 島村 東太郎  
E 2021

テキスト：H. Read, *The Green Child* (成美堂) ¥ 250

E 203 助教授 永原 和夫

テキスト：(1) D. H. Lawrence, *The Man Who Died* (英宝社) ¥ 260  
(2) D. H. Lawrence, *The Primrose Path and Three Other Stories* (研究社) ¥ 250

E 204 助教授 永原 和夫

テキスト：James Joyce, *Dubliners* (Penguin) ¥ 240

E 211 助教授 菅原 光穂

テキスト：*Essays on Language-From VOA Forum Lectures* (プリント)  
(Contents: Thinking, Cognition and Learning; Language and Linguistics; An Exploration into Semantic Space; National and International Languages; etc.)

E 212 助教授 宮岡 伯人

テキスト：E. Sapir: *Language* (プリント)

E 2131 教授 武本 昌三  
E 2141

テキスト：(1) Seaman, *A Short Social History of England*  
(2) Gilbert, *The Turning Point in Reading*

上記2冊を併用しながら rapid reading の訓練をおこす。test はほとんど毎時間おこなうので欠席しないこと。

E 2211 外国人教師 Richard D. Aufdenkampe  
E 2221

テキスト：(1) *Intensive Course in English, Part II Elementary*,  
(2) *Current American English* (Oxford U.P.) ¥ 500

The objectives of this course are to focus on the improvement of the student's hearing and speaking ability. Special emphasis will be given to individual oral responses. In addition, vocabulary expansion and learning the correct usage of the preposition, article and conjunction will be emphasized. In order to obtain these objectives the following requirements will be enforced.

(A) Attendance will be taken and any student missing more than 1/3 of the class periods will not be given a final grade.

(B) Every two weeks a quiz will be given. If a student fails to take 1/4 of these quizzes he will not be given a final

grade.

(C) Every alternate week a two page essay will be required. This essay will be used as a foundation for an oral discussion period. If a student fail to hand in 1/4 of these discussion papers he will not be given a final grade.

E 223| 外国人講師 未 定  
E 224|

E 225| 教授 脇 田 勇  
E 226|

テキスト：(1) 天満美智子「英語発想による作文演習」(朝日出版) ¥ 320  
(2) 55 *Exercises for College Composition* (文理書院) ¥ 360

(英 語 III)

E 301 講 師 島 村 東太郎

テキスト：*Palgrave's Golden Treasury* (南雲堂) ¥ 400

E 302 教 授 脇 田 勇

テキスト：W.S. Maugham, *The Razor's Edge* (Penguin) ¥ 360

E 311 助教授 菅 原 光 穂

テキスト：Clyde Kluckhohn, *Mirror for Man* (McGraw-Hill)  
¥ 940

(Contents : Queer Customs; Race-A Modern Myth; The Gift of Tongues : Personality in Cultures; etc.)

E 312 助教授 宮 岡 伯 人

テキスト：E. Sapir : *Selected Writings* (プリント)

(Contents : Communication, Language and Environment, Dialect, etc.)

E 321| 外国人教師 Richard D. Aufdenkampe  
E 322|

The objective of this course are to focus on the improvement of the student's hearing, speaking, and writing ability. In addition, it is designed to help the student become an effective public speaker both in English and Japanese. In order to obtain these objectives the following requirements will be enforced.

(A) Before a student can give a speech in class he must hand in the speech composition.

(B) If the speech composition or delivery is handed in or given late 20 points will automatically be taken off the grade.

(C) If more than one assignment is not handed in or done no final grade will be given.

E 323 教 授 武 本 昌 三

テキスト：(1) YASUDA & HASEGAWA, *The Basic Patterns for Current English Writing*

(2) Larson, *Stories by O. Henry*

従来の、いわゆる「和文英訳」的なものは最少限にとどめて、reading と併行させながら自由作文のきびしい training をおこなう。欠席時数が1/5を越える者に対しては、理由の如何を問わず単位は与えない。

ドイツ語 I・A 非常勤講師 小 崎 順  
(北大文学部助教授)

テキスト >学習ドイツ語< 三修社

ドイツ語Ⅰ・B 非常勤講師  
(北大文学部講師) 津川良太

テキスト >学習ドイツ語< 三修社

ドイツ語Ⅱ・A 非常勤講師  
(北大文学部助教授) 小崎順

テキスト G・アイク『白鳥の騎士』白水社

ドイツ語Ⅱ・B 非常勤講師 小川浩

テキスト 『教科用新独作文』藤田五郎著 郁文堂

フランス語Ⅰ 非常勤講師  
(武蔵女子短大講師) 大賀淳

フランス語の基礎文法を一通り修得し、同時に短文の読解力と基本構文の暗記に重点を置いて1年を通じ初歩的な学習を完了したい。

使用テキスト

著者名 目黒士門 出版社 第三書房

発行所 東京都千代田区猿楽町2-8-5

書名 COURS ÉLÉMENTAIRE DE LANGUE FRANÇAISE

定価 420円(昨年度)

フランス語Ⅱ 非常勤講師  
(武蔵女子短大講師) 大賀淳

それ程難解ではないテキストを通じて、語彙を豊富にしながら読解力を養成し文法的な説明を補いながら種々の複文構造に慣れるように努めたい。

テキスト

著者名 Pierre Gripari 出版社 朝日出版社

発行所 東京都千代田区飯田橋2-7-9

書名 Contes de la rue Broca 定価 290円

フランス語Ⅰ 非常勤講師  
(北大文学部講師) 中山毅

フランス語Ⅱ 非常勤講師  
(北大文学部講師) 中山毅

中国語Ⅰ 教授 川上久寿

テキスト 新しい中国語会話テキスト版、北京語言学院編、香坂順一改編、光生館、380円

辞典 現代中日辞典増訂版、香坂・太田共著、光生館、1,500円(1冊だけ買うならばこの辞典) 中国語辞典、鐘ヶ江信光著、大学書林、1,500円(人民文学などを読むにはよいが、その後の新語に乏しい) 岩波中国語辞典、倉石武四郎著、1,500円(これは耳で聞いてわかる言葉だけ収めてあるので、ちょっとした文学作品はこの辞典では読めない)

以上以外の辞典はおおむね使用に耐えない。

中国語Ⅱ 教授 川上久寿

テキスト 新しい中国語会話テキスト版、北京語言学院編、香坂順一改編、光生館(昨年使用したものの残りを学習する)

林家舗子 光生館、280円

スペイン語Ⅰ 講師 寺崎英樹

テキスト 岡田辰雄著「スペイン語の入門」(大学書林)

本書を終了後は、訳読を中心として学習する。

辞書 下記その他のうち1種を購入することが望まれる。

高橋正武著「西和辞典」(白水社)

〃 「西和小辞典」(白水社)

ロシア語Ⅰ 教授 松本忠司

テキスト 和久利誓一著「入門ロシア語文法」白水社



## ロシヤ語Ⅱ

教授 松本 忠司

前期 発音，文法，作文の整理と実用的ロシヤ語の応用展開。

テキスト 「ロシヤ語を話しましょう」

後期 文学および社会科学文献講読

## 3 保健体育科目

### 体育実技Ⅰ・Ⅱ

教授 杉山 登

助教授 藤江 正

非常勤講師 中川 平悟

#### I 体育実技の履修について

体育実技は必修科目であり，各自所定の時間に出席しなければならない。本学では1年目で毎週2時間（60時間），2年目は隔週履修で各2時間（30時間）の2ケ年で履修することになっている。

体育実技実施種目は必修種目と選択種目からなり，必修種目として水泳，スキー，トレーニング方法の実際を行なう。

選択種目としては下記のⅢにあげる5種目中より1年間に2種目を選択し履修することになっている。

#### II 必修実技種目とその内容

##### (1) 水泳

自己の安全管理という立場からその一つとして水からの事故を防止するために水泳技術を修得しておくことは極めて大切なことである。簡易な泳法，クロール，平泳，背泳，バタフライ，横泳，立泳，潜行法，逆飛び込み，人口呼吸法等に関して実習する。指導段階としては初心者班，中級班，上級班の3班に分け，初心者班では一泳法で25mを，中級班では3～4種目の泳法を習得し，一泳法で50mを，上級班では履習すべき全種目の習得と一泳法で100m以上泳げる泳力と，ある程度のスピードで泳げることを目標としたい。実施時期に関しては6月下旬～7月中旬にかけて1年目で4週間（8時間），2年目で3週間（6時間）実施するが詳しい日時については掲示により前もって通知する。

##### (2) スキー

直滑降，斜滑降系技術，プルーク系技術，シュテム・クリスチャニア，パラレル・クリスチャニア，ウエーデルン等について実習する。

指導段階としては初級班，中級班，上級班の3班に分け，初級班では1年目で歩行，滑走法，転倒法，登行法，プルーク・ボーゲン，2年目ではシュテム・クリスチャニア，中級班では1年目にシュテム・クリスチャニア，2年目でパラレル・クリスチャ，上級班では1年目でウエーデルン，2年目でポール技術，深雪の技術習得を目標としている。実施時期については，1月～2月にかけて1年目で4週間（8時間），2年目で3週間（6時間）実施する。

### (3) トレーニング方法とその実際

学生生活および社会生活を営むうえで体力の維持増進をはかることは極めて重要なことである。4月～5月の期間を体力づくりのため一般的トレーニングの方法，用具の使用法，トレーニングのための処方の仕方などについて実習し，自分で処方をし，継続実施できるようにしてゆきたい。なお，体力の劣る者（テストの結果，判定でD・Eの者）については5月以降も継続指導をしてゆきたい。

### (4) 体力測定とその内容

反復横とび，垂直とび，背筋力，伏臥上体そらし，立位体前屈，握力，踏み台昇降→体力診断テスト

50m走，走り幅とび，ハンドボール投げ，懸垂腕屈伸，持久走（または強歩）→運動能力テスト

以上の種目であるが，全種目実施が望ましいが，都合により7～9種目程度になることもある。体力測定時期に関しては，第1回目は4月下旬～5月上旬，第2回目が6月中旬～7月上旬（トレーニング・グループのみ）第3回目が10月下旬～11月上旬となっている。体力の優劣を判定するには，文部省体育局のテスト判定基準によるが，総合点によりA・B・C・D・Eに区分されるが，自己の体力の現状を正しく把握しておくことが大切である。

### Ⅲ 選択実技種目とその内容

バスケット・ボール，バレー・ボール，バドミントン，ピンポン，ソフトボールの5種目であるが，5月～9月，10月～12月の2期間において，各期毎に異った種目を1種目選択履修する。

なお，人員等の関係から選択種目の変更をさせることもある。また雨

天の場合は，体育館内で実施可能な種目に限定される。

## 体育講義

助教授 藤 江 正

1. 体育の目標と領域
2. 身体の発育・発達
3. 体位・体力・運動能力について
4. 身体運動と筋肉・骨格
5. 身体運動と神経機能
6. 身体運動と呼吸・循環機能
7. 身体運動と疲労
8. 身体運動と栄養
9. 近代トレーニング

## 体育講義

非常勤講師 青 木 高 志  
(小樽協会病院長)

川畑愛義  
宮田尚之共著：南江堂発行（1968年第9版）（450円）に概ね従い，別に，大原純吉

福田一郎  
藤咲 暹共著：金原出版KK発行（GM 選書，800円）を参考にしつつ下栗原 登

記の講義を行います。

1. 公害一般（大気汚染産業，交通災害など）
2. 水の衛生
3. 汚物処置
4. 住居の衛生
5. 栄養と飲食の衛生
6. 予防衛生（結核，癌，高血圧，心臓病，性病，老人病など主な疾病について。）
7. 精神衛生
8. 人口問題と民族衛生（人口動態，遺伝など）
9. 労働衛生（労働基準法，職業病など）

## 4 基礎教育科目

### 経済学概論

前期 教授 藤井 栄一  
後期 教授 早見 弘

P.A. Samuelson, *Economics, an introductory analysis*, 8th ed.

[reprint] を教科書として使用します。若干のゼミナールでは、経済学概論の履修を、所属の条件としているので、入学年次に於て、単位を修得することが適当です。

### 商学概論

前期 教授 石河 英夫

前期においては、商学の一部門である「会計学総論」として講義を行なう。その内容は、簿記、原価計算、会計学、監査などであるが、それらが発展し、分化したものをここでは、資本主義の変遷を背景に「資本計算」の視点から取りまとめようとするものである。

1. 総説
2. 資本主義の発展と資本計算
3. 商業資本主義と複式簿記の生成・発展
4. 産業資本主義と原価計算の発達
5. 簿記より会計への展開
6. 会計監査の発達
7. 近代的会計制度

#### 参考文献

リトルトン、片野一郎訳『会計発達史』同文館  
太田哲三『会計学通論』中央経済社

### 商学概論

後期 教授 伊藤 森右衛門

### 管理科学概論

教授 古瀬 大六

## 数 学

教授 武隈 良一

微分積分学の講義を行なう。

教科書 寺阪・福原・稲葉・坪光・山崎共著 基礎数学 微分と積分 共立出版社 580円

## 5 専門教育科目

### 経済原論

教授 藤井 栄一

I. 価値論 II. 分配論 III. 貨幣論 IV. 成長論 V. 厚生経済学

#### 参考書

経済学の専門的知識を、あらかじめ、持っている必要はないが、たとえば、「プログラム学習によるミクロエコノミクス」および「プログラム学習によるマクロエコノミクス」（いずれも学研で出版）程度は自由にこなせる常識を持っていないと、講義をフォローすることが困難であろうと予想します。

入門書としては、Lipsey, *Positive Economics* をすすめます。それ以外に、サムエルソン「経済分析の基礎」；ロバートソン「経済学講義」（上、中、下）；ゲール「線型経済学」；ドーフマン・サムエルソン・ソロー「線型計画と経済分析」；ケインズ「一般理論」；アクリー「マクロ経済学」Patinkin, *Interest, money, and Prices*; Friedman, *Price Theory*; スティグラー「価格の理論」；ヒックス「賃金の理論」；荒憲治郎「経済成長論」などを利用します。

さらに、論文について議論することがありますが、その殆んどすべては、*Readings in Microeconomics*, *Readings in Price Theory*, *Readings in Monetary Theory*, *Readings in Welfare Economics*, *Readings in the Theory of Income Distribution*に含まれています。

#### 試験について

例年（少なくとも過去数年にわたって）学則にきめられている通常の試験だけでは、単位認定について決定することが困難である場合が、しばしば、ありました。卒業年次の履習者について、これが特に問題となります。本年度（昭和46年度）は、原則として、「追試」あるいは「再試」は行なわない予定です。

### 経済変動論

（後期）教授 増井 幸夫

#### 講義内容

- I 資本主義経済の長期的展望
- II 現代資本主義経済の経済変動
- III 計画経済における経済変動
- IV 経済変動の理論的考察
- V 経済安定政策

#### 主な参考書

J. A. Schumpeter, *Capitalism, Socialism and Democracy*, (邦訳中山, 東畑訳『資本主義, 社会主義, 民主主義』), ditto, "*Business Cycle: A Theoretical, Historical and Statistical Analysis of the Copitalist Process*", (邦訳金融経済研究所訳『景気循環論』有斐閣), 藤野正三郎著『日本の景気変動』勁草書房, J. R. Hicks, *A Contribution to the Theory of the Trade Cycle*, (邦訳古谷訳『景気循環論』岩波書店), 杉本栄一編『恐慌』河出書房, 熊谷尚夫著『経済政策原理』岩波書店, A. H. Hansen and R. V. Clemence (ed), *Readings in Business Cycles and national Income*, Norton, 1953. 森島通夫著『資本主義経済の変動理論』創文社 (昭30)

経済学特殊問題 (北海道大学経済学部助教授) 非常勤講師 降旗 節 雄

### 計量経済学

助教授 松田 芳 郎

指定読書表 (reading assignment) は開講後配布する。

広義の計量経済学中、伝統的に数理経済学と呼ばれてきた分野は除き、実証的経済分析の側面に議論を限定する。したがって、議論の焦点のひとつは経済学における実証とは何かということに向けられる。他の主題はこの実証分析の手法にしばられる。

講義の性質からいって、経済学概論、応用数学（代数）（解析）、統計学を履習済みであることが望ましい。

## 経済史概論

助教授 井上 巽

英・仏・独の史実を素材として、経済史の基礎理論を論述する。講義は次のような編成である。なお、今年度は特に第V章以下に力点を置きたい。

- I 課題と方法
- II 経済発展段階説
- III 封建制の経済構造
- IV 封建的危機の経済構造
- V 市民革命の経済構造
- VI 重商主義論
- VII 産業革命論

テキストは使用しない。参考文献はそのつど指示するが、さしあたり、大塚・高橋・松田編『西洋経済史講座』（岩波書店）I～IVをあげておく。

## 日本経済史

教授 安孫子 麟

この講義は、日本資本主義社会成立の段階論的ならびに類型論的特質を考察することを目標とする。その範囲は一応経済史的考察に限定されるが、私の関心から「社会史」的な内容になると思う。

対象とする時期は、昨年よりもさらに下った時代＝「天保期」から始め、日本資本主義の体制的確立期（ほぼ明治末）までとしたい。このため、講義を受ける前提として、近世封建制（徳川幕藩体制）の構造論的把握と封建的危機の展開過程とについて、受講者各人において予備的学習を行ってほしい。そのための文献は多いが、さしあたり手ごろなものとして、中村吉治編『社会史』II（山川出版社刊1,200円）を挙げておく。これは徹底して構造論的な把握で貫かれた書であり、移行・変革論的な把えかたはほとんどない。

講義は、移行・変革論からスタートするわけであるが、その際に「共同体」的構成（前資本主義社会の基礎的構成要因）の止揚・変質の吟味、つまり身分関係の吟味に注意を向けたい。というのは日本近代の構造的特質は、とくにその点に（ex 天皇制）表現されていると思われるからである。講義の大綱はほぼつぎのようであるが、細部は講義を進めるなかで示したい。

序章

- I 封建的危機論——天保期の歴史的意義・農民層分解論・天保改革・開国
- II 維新変革論——世直し状況・変革主体論・維新権力論・維新政策の諸段階・自由民権運動
- III 資本主義形成論——商工業＝資本制生産関係の展開過程・農業＝寄生地主制の確立過程・植民地支配・財閥形成
- IV 日本資本主義構造論——再生産構造の特質・天皇制・日本近代の「型」制とその解体への展望

なお、教科書は使用しない。参考文献は別に示す。念のため、さきに挙げた参考文献は、講義にはほとんど使用しない。

## 経済政策

（前期）助教授 望月喜市

本年度は、つぎの各項について講義する予定です。本年は、昨年まで使用した熊谷尚夫氏の『経済政策原理』（岩波書店）に沿って講義をすることをやめ、それを参考としながらも、独自の編成に従って現代の経済政策を追求する考えです。

1. 経済政策の理論的基礎
2. 国民所得の決定と安定政策
3. 成長理論と政策
4. 資源配分と価格機構
5. 所得分配
6. 経済計画

## 農業経済学

非常勤論師 黒柳俊雄  
（北海道大学農学部助教授）

日本経済は、国際的にその高い資本蓄積と教育水準、模倣的技術革新、少い国防費と高い食糧自給度、これらが高い経済成長を実現してきた。しかし高度成長は単なる demand pull, cost inflation を越えた構造的インフレにもとづく高物価をもたらしてきている。

一方、国際経済の中で日本経済は、国際収支の好調から外貨保有が増大したため、日本の輸出を規制し、輸入を促進する諸力が海外から強く作用してきている。円切上げ措置の要請は大きい。そして先進国、低開発国を問わず

日本との貿易尻において入超の国は、日本への農産物輸出を通じてバランスをかなり回復させたい意向を持ち、それなしには、日本からの工業製品の輸入も大きく規制され勝ちである。

このように、国際的な貿易自由化、資本自由化、国内での構造インフレは、日本経済全体の成長に大きな影響を与える基本要因である。したがってその中での日本農業の位置づけ、経済政策の中での農政の一般均衡的理論モデルの構築は、今後の日本経済発展にとって極めて重要な意味を持つ。

したがって、本講義では、「経済発展と農業」という分析視角から、農・非農業の経済循環並びに比較分析を通じて、現下日本農業の現実を明らかにし、農政の私見に及ぶ。

講義テキストとしては、大川一司「農業の経済分析」大明堂を使用するものとする。

経済分析で取扱う主要な具体的問題は、農業問題とは何か、土地の経済的性質、過剰就業、資本収益率、景気変動と農業等である。

農政に関してふれる主要な問題は、貿易自由化と日本農業、農産物の自給度、土地規模拡大対策、農産物価格政策であり、米過剰への対策、過疎対策である。

## 社会政策

教授 吉 武 清 彦

## 財政学

教授 早 見 弘

今年度は、以下の順序で講義する予定である。

### I 財政と資源配分

- |             |                |
|-------------|----------------|
| (1) 政府予算の構造 | (2) 財政支出の時系列分析 |
| (3) 公共財の性質  | (4) 超過負担の回避    |

### II 財政と所得再分配

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| (1) 所得分布の不平等度 | (2) 所得分配の平等論について |
| (3) 累進課税の構造   | (4) 所得税の再分配効果    |
| (5) 相続税の再分配効果 | (6) 逆所得税と社会保障    |

### III 財政と安定成長

- |               |            |
|---------------|------------|
| (1) 財政収支の乗数分析 | (2) 自動安定装置 |
|---------------|------------|

### (3) 企業課税と投資・貯蓄の優遇措置

参考文献 大川・宇田川編『財政学講義』（青林書院）

木下・肥後・大熊編『財政学』1および2（有斐閣）

その他は、講義中に指示する。

## 国際経済論

講師 池 間 誠

(a)貿易はなぜ行われ、(b)国際収支はどのようにして均衡するか。そしてまた、(c)経済発展とこれら2つの問題はどのように関連しているか、を講義する。理論的仮説だけでなく、その実証的裏付けをも合わせて述べてゆきたい。

なお、小島清『外国貿易—全訂増補版—』（春秋社、昭41）をテキストとして上げておくが、必ずしもテキストにはとらわれない。また、必要な参考文献は、その都度指示する。

## 貿易政策

教授 麻 田 四 郎

「国際経済論」で取上げた貿易理論を基礎として、第2次大戦後の世界経済の動向を、(イ)IMF、(ロ)GATT、(ハ)南北問題 の諸側面に即して考察したい。

講義の底本としてH・ジョンソン『岐路に立つ世界経済』およびG・M・マイヤー『発展の国際経済学』を念頭におく。

## 国際金融論

教授 足 立 禎

国際金融は国際通貨制度や市場機構の研究だけではなく、非常に領域の広い学問である。しかし、その基礎理論をなすものは外国為替の理論、特に先物為替の理論である。今日、外国為替の理論を知らずして、IMF体制や国際通貨制度の諸問題を論ずることはできない。

第1学期においては外国為替の理論を主として取扱い、第2学期においては第1学期において修得した知識を利用して現実に発生しているカレントな国際金融問題を研究し、将来を展望することとする。

講義に当っては余り抽象的な理論に走らず、むしろ実際界の動きを中心と

して論じたい。

教科書 Egon Sohmen 著「先物為替の理論」勁草書房，足立禎訳  
参考書

アインツイヒ著 | 東銀為替部 訳 | 「先物為替の動態理論」東洋経済新報社

アインツイヒ著 | 足立禎 監訳 | 「平価切下げの要因」文雅堂銀行研究社  
(Leads and Lags)

ヒンシヨウ 編 | 芦矢・足立 共訳 | 「金価格と国際通貨」東洋経済新報社

足立 禎 著 「新外国為替論序説」外国為替貿易研究会

## 金融経済論

助教授 漆 崎 健 治

経済における金融の役割，貨幣経済の把握および実物経済に対する貨幣要因の作用等を主要テーマとして展開する。

- I 序論
- II 金融の形態とその発展——貨幣，本源的証券，間接証券——
- III 古典学派の貨幣経済理論
- IV ケインズ『一般理論』の貨幣的側面
- V ケインズ以後の貨幣経済理論
- VI 物価の理論
- VII 金融政策とその効果

参考文献

J・G・ガーレイ，E・S・ショウ（桜井欣一郎訳）『貨幣と金融』至誠堂

L・K・クライン（篠原三代平，宮沢健一訳）『ケインズ革命』有斐閣  
G・H・ジョンソン（村上敦訳）『貨幣，貿易，経済成長』ダイヤモンド社

水野正一，山下邦男監訳『現代の金融理論』I，II，勁草書房

J・ヒックス（江沢太一，鬼木甫訳）『貨幣理論』オックスフォード大学出版局  
川口弘『金融論』筑摩書房

D. Patinkin, *Money, Interest, and Prices* Harper & Row  
B. J. Moore *An Introduction to the Theory of Finance*

Collier-Macmillan

## 銀行論

助教授 漆 崎 健 治

- I イギリスにおける銀行業の発展
- II 商業信用と銀行信用
- III 商業銀行業務
- IV 預金銀行の特質と信用創造
- V 銀行流動性理論
- VI わが国の金融制度

主な参考文献

R・S・セイヤーズ（三宅義夫訳）『現代銀行論』，東洋経済新報社  
A・G・ハート，P・ケネン（吉野昌甫，山下邦男訳）『現代金融論』日本評論社

樋口午郎『銀行理論』東洋経済新報社

川口慎二『銀行流動性論』千倉書房

## マーケティング

非常勤講師 片 桐 誠 士  
(短期大学部助教授)

序 マーケティング論の課題，対象と方法

- I マーケティングの成立過程と商業
- II マーケティングの成立と展開
- III 現代マーケティングの基礎概念
- IV 現代マーケティングの体系と技法

参考文献

荒川祐吉・森下二次也編著

体系マーケティング・マネジメント 千倉書房

片岡一郎他共著 現代マーケティング総編 同文館

荒川祐吉他共著

マーケティング経営論（新経営学全集4）日本経営出版会

森下二次也編 商業経済論体系 文人書房

## 商業英語

非常勤講師 北村正司  
(短期大学部教授)

外国貿易取引の流れを体系的に展開し、貿易に関する実務と英語通信文の両面から、下記の内容を中心として、基礎的な知識の把握と表現応用能力の涵養をはかりたい。

1. 英文商業書簡文の構成と形式
2. 取引関係の樹立
3. 引合から受注まで
4. 契約の履行
5. 国際電報
6. 国際テレックス

### テキスト

- (1) 羽田三郎著「貿易通信入門」(関書院新社) ¥400
  - (2) 山本謙一著「実務英作文教本」(大修館書店) ¥360
- (2)は(1)との関連において併用する。演習のため問題を精選し、表現の習熟に資したい。

## 保険論

講師 田村祐一郎

- I 保険の技術的構造
- II 保険企業の行動理論
- III 保険史

## 証券市場論

助教授 石原定和

戦前における証券市場論は、一言でいえば証券取引所論であり、商業学の一部門として、商品・証券の両取引所を含めて体系づけられていた。これは、戦前の財閥が封鎖的な資金の調達方法を用いたため、公開された証券市場では企業の資金調達という機能よりも、むしろ投機取引という商品売買に共通した面だけが利用されていた事実の反映である。

戦後になる、財閥企業も長年の蓄積を失って再出発が必要となったし、財閥解体によって、株式市場は企業の資金調達という本来の機能を果すよ

うになった。

このような事情を反映して証券市場論も取引所の中だけでなく、一方では企業の資金調達面や他方では金融市場との広い関連のなかで取扱われねばならなくなってきた。

以上のような問題意識を基礎に据えて、証券市場論の講義の内容(あるいは体系)を考えるとすれば、さしずめつぎのような構成となるであろう。

### 序 証券市場論の対象

- 1 株式会社における証券の役割  
—資本集中と支配技術の進展と関連させて—
- 2 資本証券の本質とその運動  
—擬制資本簿疇の成立とその自己運動—
- 3 資本証券の流通と金融市場
- 4 わが国における証券市場発展の歴史と資本蓄積に果たした役割

### 《参考文献》

- 1 『証券経済講座』(東洋経済)全5巻
- 2 川合一郎編『日本証券市場の構造分析』(有斐閣)
- 3 川合一郎編『証券市場論』(有斐閣双書)
- 4 馬場克三『株式会社金融論』(森山書店)
- 5 別府正十郎『資本会計の経済理論』(森山書店)
- 6 後藤泰二『株式会社の経済理論』(ミネルヴァ書房)
- 7 伊牟田敏充その他『証券経済論』(有斐閣双書)

## 証券金融論

助教授 鈴木満直

証券金融を証券の金融的側面として理解し、前半に証券の商業学的側面、すなわち制度を金融構造の一スケッチであるマネー・フロー表をもとにして紹介し、後半にウィクセル、フィッシャー、ケインズなどの利子論を中心にした経済学的側面を講義する。

テキストは使用しない。

### 参考書

木村増三 証券市場論 春秋社。



小泉明 マネー・フロー 至誠堂。

K. Wicksell, Lectures on Political Economy.

I. Fisher, The Theory of Interest.

J. Conard, Introduction to the Theory of Interest.

J. M. Keynes, The General Theory.

## 経営学原理

助教授 篠崎恒夫

### 1 履修条件

商学概論，社会科学概論の修得者又は現在履修中の者が望ましい。

### 2 講義方針

経営学がいかなる認識方法で研究対象にアプローチするかを考えながら経営学とは何かを講じて行く。

### 3 内容

第1章 経営学の方法

第2章 経営学の成立と展開

第3章 経営の基本構造

第4章 経営形態・企業形態

第5章 企業理論と経営理念

第6章 経営の職能構造

第7章 経営理論の分化と統合

第8章 行動科学と意志決定理論

第9章 企業の社会化

### 4 参考書

講義に関連する基本文献は随時挙げるが，ここでは購入可能なものに限って入門的参考書を紹介する。

中村常郎編「経営学」有斐閣

馬場克三編「経営学概論」有斐閣

藻利重隆「経営学の基礎」森山書店

モクスター著，池内，鈴木訳「経営経済学の基本問題」森山書店

鈴木英寿「ドイツ経営学の方法」森山書店

酒井正三郎「経営学方法論」森山書店

池内信行「現代経営理論の反省」森山書店

古林・三戸編「経営経済学本質論」（講座・現代経営経済学1）中央経済社

植村省三「経営学の根本問題」雄渾社

高宮晋編「現代経営学の系譜」日本経営出版会

### 5 単位履修

前期試験に替えるものとしてレポートを提出して貰う。期限7月10日，枚数400字詰横書原稿用紙10～40枚，テーマについては，追って掲示する。本レポートの可否は最終試験の受験資格を決定する。

## 労務管理

（後期）教授 伊藤森右衛門

## 簿記学

教授 久野光朗

### (1) 授業内容

最初の授業時間に授業計画と学習方法を説明し，あわせて参考書の紹介をしますが，授業内容は次のとおりです。

§1 総論

§2 貸借理論

§3 勘定理論

§4 帳簿組織論

§5 決算理論

### (2) テキスト

沼田嘉穂，「簿記教科書8訂版（記帳練習帳を含む）」（同文館）  
¥1,200

### (3) 参考書——現在入手可能なものに限定

片野一郎，「簿記の手ほどき」（同文館）

片野一郎，「新稿簿記精説」（同文館）

井上達雄，「例解会計簿記精義」（白桃書房）

泉谷勝美，「簿記学概論」（森山書店）

山榊忠恕，「複式簿記通論」（中央経済社）

山根・飯野・染谷共編「簿記原理」・「上級簿記」(有斐閣)

戸田義郎,「簿記」(評論社)

黒沢清,「改訂簿記原理」(森山書店)

横浜市立大学会計学研究室編,「大学簿記演習」(同文館)

阪本安一,「改訂簿記詳説」(国元書房)

## 原価計算

教授 久野光朗

最初の授業時間に授業計画と学習方法を説明し、あわせて参考書の紹介をしますが、講義の進め方は次のようにしたいと考えています。

- § 1 総論
- § 2 実際原価の計算
- § 3 標準原価の計算
- § 4 原価差額の処理

テキストはとくに指定しませんが、各自でかならず大蔵省企業会計審議会、「原価計算基準」を用意してください。

参考書——現在入手可能なものに限定

片野一郎,「工業簿記の手ほどき」(同文館)

番場嘉一郎,「新講工業簿記精説」(中央経済社)

「新講原価計算」(中央経済社)

「原価計算論」(中央経済社)

溝口一雄,「新版例解原価計算」(中央経済社)

松本雅男,「原価計算詳解」(春秋社)

諸井勝之助,「原価計算講義」(東京大学出版会)

青木茂男,「原価計算新稿」(中央経済社)

山辺六郎,「現代原価計算精説」(白桃書房)

太田他4人監修,「原価計算辞典」(中央経済社)

## 経営統計学

教授 武隈良一

商業学科と経済学科の学生のための講義なので、数学の面を強調することなく、主として応用について述べる。題材は主としてORのなかから選ばれる。

教科書 小林竜一著 OR概論 共立出版株式会社 ¥950

## 会计学

教授 石河英夫

- I 会计学の概念
- II 企業会計の本質・職能
- III 会計理論の展開
- IV 企業会計の基礎的前提
- V 企業会計原則の成立・構造
- VI 企業会計の一般原則
- VII 損益計算書原則
- VIII 貸借対照表原則

## 監査論

教授 石河英夫

- I. 序説
- II. 監査の語義・類似語
- III. 会計監査の概念
- IV. 会計監査の本質
- V. 会計監査の諸形態
- VI. イギリスにおける監査の発達
- VII. ドイツにおける監査の発達
- VIII. アメリカにおける監査の発達
- IX. 投資家保護の監査
- X. わが国における監査制度
- XI. 監査基準
- XII. 監査手続
- XIII. 監査報告

参考文献:

近沢弘治『現代会計監査』(中央経済社)

田島四郎『新会計監査提要』(同文館)

久保田音二郎『近代財務諸表監査』(同文館)

## 外国書講読

助教授 石原 定和

テキストは、受講者の意見を入れて考慮する。

## 管理科学特講 I・IV

非常勤講師  
(北海道工業大学助教授) 天 野 豊 治

## 管理科学特講 II・III

非常勤講師  
(東海大学講師) 浅 利 英 吉

管理科学特講 II・III は、近代の数理的経営管理に用いられるオペレーションズ・リサーチ (OR) など、<sup>レ</sup>経営科学とよばれている数学手法からいくつかを選び、その理論と実際について講義するものである。とくにオペレーションズ・リサーチはシステム工業の基幹をなすものでもあって、自然科学、人文科学を問わず広く利用される可能性を持つ境界領域の学問であり技術でもある。これは数理統計学、確率論を中心に、待ち合せ、在庫、取替、線形計画法、シミュレーション、ダイナミックプログラミング、ゲーム論、情報理論、実験計画法などの手法を含んでいる。これらは、いわばいろいろな種類の数学的工具あるいは工作機械、また測定機器に相当し、<sup>レ</sup>待ち合せ、などの名称は、そのモデルとなった現象とか問題、用途などに因んで名付けられたものである。そして、あたかも工具におけるようにその用途にはかなりの融通の効くものであるが、理工学諸分野のようにまとまった理論体系をなしているわけでもない。したがって、どの手法から学んでもよいのであるが、数理統計学履修の有無、理解の容易さ、用途、将来性などを考慮して、どれを講義するかを選択した。まず特講 II では、シミュレーションと、線形計画法の基礎あるいは取替理論のいずれかをと講義する。ここで、シミュレーションとは一般に擬似実験、模擬演習を意味する手法だが、その中で現象が確率的でかつ解析的な方法の及ばないような数学的諸問題を解くのに用いられる<sup>レ</sup>モンテカルロ法を中心として講義する。また、線形計画法は、いくつかの要因の組み合わせとその量的配分の最適性を追求するもので、シンプレックス法とよばれる線形不等式の解法が中心となる。

なお、取替理論は 2 種類あり、ひとつは時間と共に劣化する物財の取替時

期を決定する経済学よりの問題、またひとつは時間に対する取替数量を論議する<sup>レ</sup>保全と称される問題である。次に、特講 III では多次元解析を講義するが、いろいろな種類の要因と結果の間の関係を数量的に論ずる多次元回帰分析と、いくつかの特性を持つ標本群を分類するための線形判別の問題を論ずる予定である。教科書として、佐治・白根らの<sup>レ</sup>オペレーションズ・リサーチ理論と実際を使用する他、適宜プリントを併用する。

## 機械化会計

教授 古瀬 大六

## 応用数学 (代数)

助教授 沼田 久

管理科学の諸分野を理解するために必要な線形代数、すなわち、ベクトル空間、行列、行列式、線形不等式などの初歩的なことを講義する。高等学校的数学の得手、不得手とはあまり関係はないが、若干の抽象的思考能力または根気が必要である。単位数が他の科目よりも多いから履習するというような態度では落伍することが多いであろう。

なお、行「列」とか行「列」式とかの名称だけを見て数列のことだなどと誤解しないように。

教科書：とくに指定しない。

参考書：村上正康・掛下伸一、統計のための数学 I (線型代数)、培風館。

古屋 茂、行列と行列式、培風館。

竹内 啓、線型数学、培風館。

入江昭二、線型数学 I、共立出版。

大学数学教育研究会、行列とベクトル、共立出版。

佐竹一郎、行列と行列式、裳華房。

二階堂副包、経済のための線型数学、培風館。

## 応用数学 (解析)

講師 若林 信夫

管理科学のために必要な解析学のうち、

I 級数・微分方程式論

II 最適化理論

### Ⅲ 測度論的確率論

について、一応の知識を与えることを目的とする。

若干の抽象的思考の能力と根気が必要である。

教科書は使用しない。

参考書：一松信「微分方程式を中心とした微分積分学」(裳華房)

古瀬大六「数理計画法Ⅰ」(共立・情報科学論座A.3.2)

コルモゴロフ「確率論の基礎概念」(東京図書)

その他。

### 応用数学(統計Ⅰ)

未定

### 計算機論Ⅰ

助教授 清水川 緋紗子

<テキスト> 未定

<参考書> JISハンドブック 情報処理 1971 日本規格協会 ¥1,500

### 計算機論Ⅱ

助教授 戸島 潤

Compiler の内部構造とそこで使用されているいろいろな技術について解説する。内容としては、ACMC<sup>3</sup>S が recommend している CURRICULUM 68 の Course I5. Compiler Construction (*Communication of ACM*, Vol. 11, No.2 (March 1968), p.181参照) 程度のものを考えている。ある特定の compiler の内容を具体的かつ詳細に説明した文献として

田中一・柄内香次・宮本衛市：コンパイラ(数学ライブラリ22)，森北出版，1971がある。同書を text とはしないが、それにきわめて近い使い方をする場合がある。

### 憲法

非常勤講師 秋山 義昭  
(短期大学部講師)

規範としての憲法は、社会の歴史的な諸関係を規定すると同時に、政治的経済的状況は、憲法の具体的な構造と解釈の中に入り込む。その相関関係の

中で憲法の法としての機能を把えることこそ、真に科学的憲法学たり得ると思う。そのためには、憲法の構造的把握と、豊富なケースの引用による現実的な運用の過程を正確におさえることが必要である。こういった観点の上に、講義では、「活きた憲法」「一定の法則を以て伸縮する尺度としての憲法」を知ること重点を置くよう努めたい。

教科書 伊藤正己，憲法入門(有斐閣双書)

### 民法Ⅰ

助教授 神田 孝夫

主として民法典の総則編・物権編を考察の対象とする。なるべく多くの具体的事例をとりあげながら話を進めたいと考えている。

テキストは、遠藤浩ほか編「民法(1)」有斐閣，甲斐道太郎ほか編「民法判例Ⅰ」有斐閣を用いる。六法全書はとくに指定はしないが、岩波書店か有斐閣発行のものがのぞましい。以上の書物は必ず購入しておくこと。物権法のテキストはのちに指示する。

### 労働法

助教授 加藤 俊平

本年度はつぎのような講義案でおこなう。

- (イ) わが国実定労働法のうち労組法・労基法・労調法を中心として、その解釈、機能および構造について考察する。
- (ロ) 法解釈に際しては、裁判所の判例を体系的に理解することが不可欠であるから、受講者に対して、裁判所の研究・報告を課することがある(判例集としては、労働関係民事裁判例集，最高裁民事・刑事裁判例集が図書館にある)。
- (ハ) 参考書としては、一応、石井照久・『新版労働法』(弘文堂) ¥1,500を使用する。この本は、わが国の代表的な教科書である。労使関係を勉強するための文献としては、白井泰四郎・『企業別組合』(中公新書)，藤田芳雄・『新版第二組合』(東大出版会)，氏原正治郎・『日本の労使関係』(東大出版会)などがある。
- 講義案はつぎの三つの部門にわたる。労働基本権論(憲法25・27・28条および21条)

労働団体法論（労働組合，不当労働行為，労働協約，争議行為）

個別労働法論（労働契約，労働基準，就業規則）

## 商 法 I

学 長 實 方 正 雄

商法は，資本主義社会における資本制企業を対象とする法である。そのうち，商法Iは，商法典中の商法総則および会社法を中心としたものである。講義は，私の商法理論体系にしたがい，資本法としての歴史的機能を有する商法の意義や，資本制企業の法律的構造一般の問題を取扱い（商法総則）について，企業形態の法（会社法）ことに会社企業の諸法形態に論及する。この企業形態法については，現代資本主義社会の中核体たる株式会社を中心とし，とくにその諸法制度のもつ経済的実践的機能を追求して，その持つ歴史的意義を分析したいと思っている。なお，株式会社との比較対照において，合名会社，合資会社，有限会社にも触れながら，わかり易く説明を続けてゆくつもりである。

教科書としては，旧式な筆記の労をはぶくため，私の書いた講義案「再訂商法講義」を使用する。この書物は，講義案たるの性質上，簡明にすぎ，やや難解であるから，講義では，平易にかみくだいて，ときには重要判例などをとりあげながら，解説するつもりである。したがって，私の教科書を読むだけで，商法の内容や，私の理論や立場を十分に理解することは，きわめて困難であろう，ということに注意しておく。

## 経 済 法

非常勤講師 丹 宗 昭 信  
(北海道大学法学部助教授)

1. 経済に関する国家的介入の原理（経済法原理）
  - ① その歴史的変遷
  - ② 統制と競争
  - ③ 有効競争と経済政策
2. 経済に対する国家的介入の諸形態
  - ① 歴史的考察
  - ② 現代的介入の形態
    - (A) 独占禁止法による規制

(B) 適用除外による規制形態

(C) 独占補助的介入形態

③ 不正競争防止法等による規制形態

3. 国際経済と国家介入の諸形態

① 国内化の問題

② ガットその他の貿易制限の形態

③ 国際不正競争の問題

4. 国際経済法の問題

① EEC等の問題

② 国際カルテルの問題

以上のような問題について考察してゆきたいと思う。尚独占禁止法がその中でも中心的に取扱われるであろう。

## 国 際 法

助教授 大 谷 良 雄

### 国際機構論

助教授 大 谷 良 雄

#### I 序論

1. 国際組織の概念
2. 国際組織の意義
3. 国際組織の歴史

#### II 国際組織一般論

1. 国際組織の構造（機関の問題）
2. 国際組織の構成（代表制の問題）
3. 国際組織の権能（表決制の問題）

#### III 国際連合論

1. 国際連合の機構
2. 国際連合の機能
3. 国際司法裁判所の機能

参考書 D. W. Bowett, The Law of International Institutions, Stevens 1963.

高野雄一著「国際組織法」（有斐閣）

## 6 教 職 科 目

### 教育原理

教授 田 中 昭 徳

(「教育学」のところを参照すること)

### 教育心理学

非常勤講師  
(北大教育学部助教授) 若 井 邦 夫

(「教育学」のところを参照すること)

#### 第I章 序 論

- 1 教育と心理学
- 2 教育心理学の対象・領域

#### 第II章 発 達

- 1 発達の基礎的諸問題
- 2 発達の原理
- 3 身体的・知覚運動的発達
- 4 知的発達
- 5 情緒の発達
- 6 社会的行動の発達

#### 第III章 学 習

- 1 学習の定義
- 2 学習と成熟
- 3 学習と動機づけ
- 4 学習の過程
- 5 学習の転移
- 6 学習の理論

#### 第IV章 人格と適応

- 1 人格の定義
- 2 人格形成の諸条件
- 3 要求不満と適応
- 4 人格の諸理論

#### 第V章 測定と評価

- 1 測定・評価の意義
- 2 能力の評価
- 3 学力の評価
- 4 人格の評価

#### 第VI章 指 導

- 1 指導の基礎的諸問題
- 2 学習指導
- 3 生徒指導

#### 第VII章 学級社会の心理

- 1 集団の構造と機能
- 2 児童・生徒の相互関係
- 3 教師と児童・生徒の関係

### 商業科教育法

非常勤講師  
(札幌大学講師) 渡 辺 羊 三

#### I 商業教育の概念

- 1 商業教育の意義の変遷
- 2 商業教育と他の教育
- 3 商業教育の目的およびその内容
- 4 商業教育の目標

#### II 商業教育の沿革

#### III 商業教育と職業指導

#### IV 商業教育の機関

#### V 教育課程

- 1 教育課程の原理と編成
- 2 商業教育課程の変遷と編成

#### VI 学習指導法および評価

- 1 学習指導の意義および類型
- 2 商業科の学習指導
- 3 評価の意義および目的

- 4 商業科における評価  
VII 商業教育の施設・設備  
VIII 高等学校における職業教育の多様化と商業教育

参考書：武市春男 新版商業教育論 国元書房  
初又才次郎 高等学校商業科教育法 理想社  
奥村恒夫 新訂商業教科教育法 大明堂  
大基隆治 高等学校商業教育論 市ヶ谷出版社  
その他については、そのつど指示致します。

※教育実習 (集中) 教授 久野光朗  
助教授 鈴木満直

教育史 教授 田中昭徳

テーマ 日本の「近代化」と教育  
福沢諭吉著『学問のすすめ』の講読を中心に、日本の「近代化」と教育との関係を考察する。  
テキスト 福沢諭吉著『学問のすすめ』・『文明論之概略』  
(必ず岩波文庫版を使用のこと)。

職業指導 非常勤講師 石井 茂  
(教育大学教授)

英語学 I 助教授 菅原光穂

変形生成文法の理論を概説する。

テキスト

- (1) *Chomsky* by John Lyons (Wm. Collins & Co. ¥360)
- (2) *The Study of Syntax* by D Terence Langendoen  
(金星堂 ¥950)
- (3) 参考書として他にもう一冊ぐらい追加する予定。

英語(上級 I) 助教授 宮岡伯人

- (前期) J. Waterman: *Perspectives in Linguistics*  
(後期) L. Whorf: *The Relation of Habitual Thought and Behavior to Language*  
E. Sapir: *The Status of Linguistics as a Science*  
H. Hoijer: *The Sapir-Whorf Hypothesis*

英語(上級 II) 助教授 永原和夫

- T. S. Eliot, *Essays* (研究社英米文学叢書) ¥850  
現代英米文学に偉大な足跡をのこしたエリオットの評論を通じて、文学の根本問題を考究する。

### Ⅲ 研究指導要項

#### 武隈教官担当研究指導

1. 研究主題：数理統計学または経営統計学（OR）に関するもの
3. 使用テキスト：本人の希望をきいて決定する
4. 申込の条件：数学を第2学年修了時において履修済みであること
5. 決定の方法：面接による

#### 藤井教官担当研究指導

3年次のゼミナールではさし当りは、Readings in Price Theory に収められている諸論文のうち、生産に関するものを素材にして、経済分析の思考に慣れること中心目的をおきます。本年、4年次のゼミナールに於ては、ひきつづき、ケインズ「一般理論」の考え方の吟味を行います。

#### 安孫子教官担当研究指導

- 1 研究主題  
歴史理論および日本経済史に関する諸問題を対象とする。日本資本主義の現状分析（たとえば日本経済論的な）は扱わない。ただし、日本資本主義発達史の観点からのアプローチは取上げていきたい。
- 2 研究の方法  
自分で研究を進めていける能力を身につけることが目標であるが、このためには、まず歴史理論・経済理論の基本を学習しておくことが重要である。したがって、最初はそのようなテキストの精読に重点をおく。しかしまた歴史理論は、具体的な歴史分析を俟ってさらに深められるものでもある。それゆえ、史的分析の方法を個別研究を読みながら考えていきたい。「事実」の扱い方は史的分析の基本であるから、この点を学びとることが大事である。なお、希望者には古文書講読の時間を設けたい。  
初年度は、テキストとして栗原百寿著『農業問題入門』（青木文庫版

）を使用する。これは歴史理論の書である。例年注意することであるが、この書を読むためには、経済理論の学習とともに『資本論』などの古典を絶えず参照していかなければならない。

次年度は、なるべく多くの文献を速く読むことを心がける。ここで具体的な史的分析の方法を学ぶ。どのような文献を読むかは、ゼミナリステンと討議の上で決める。後半は卒業論文の作成に重点をおく。

#### 3 研究指導にあたっての希望

例年希望することであるが、経済理論を十分に学習しておいてほしい。経済学特別問題や経済史概論の内容を身につけておくことが必要である。もう一点、史的唯物論に関する文献を一度は読んでおくこと。

歴史が好きだというだけではどうにもならない。しかし、理論だけでも歴史分析はできないものである。

#### 4 所属決定の方法

面接による。人数は10人前後にしぼる。

#### 吉武教官担当研究指導

1. 研究主題：社会政策、工業経済学
2. 指導要領
  - (i) 全般
  - (ii) 3年次：下記テキストを読む（輪読形式による）
  - (iii) 4年次：卒業論文指導
3. 使用テキスト  
Ernest Barker, The Development of Public Services in Western Europe 1660—1930 (Reprint Hamden: Archon Books 1966), vi+pp93  
※テキストの内容；著者アーネスト・バカーはイギリスの著名な政治学者であり、この書物は絶対王政以降の西ヨーロッパ諸国において、社会政策・徴兵制・租税・官僚制がどのように発展推移したかという問題を扱っている。簡潔だが含蓄は深い。内容の性質上、ヨーロッパ近世史についての知識が必要の条件である。
4. 申込みの条件



12名～14名程度

#### 5. 決定の方法

従来ゼミ募集に際して、テストを行なったが、今年は教官海外留学中で不在のため、テストは出来ず、そのため先着順で希望者を受入れる。

#### 6. その他

- ゼミナールの無断欠席3回以上に及び場合、教官は除名する権利をもつものとする。
- テキストの購入は、学生各自丸善なり紀の国屋なりに注文すこと。  
¥600余

### 早見教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

政府活動の経済理論、なかんずく政府予算収支を媒介とする資源配分、所得再分配および安定成長への効果の分析

#### 2. 指導要領

- (イ) 昭和47年度については未定であるが、これまでの方針を変えるつもりはない。すなわち、新刊の英文著作を、ゼミナリスト全員でよんでもらう。46年度は、初めに、R. A. Musgrave, Fiscal Systems (Yale Univ. P. 1969) をよむことにしている。
- (ロ) 人数の多少によって異なるが、4年次前半までは、英語文献をよむことにしている。その後、卒論テーマにそって、発表してもらうことになる。

#### 3. 申込の条件

- (イ) 例年、経済学概論を履修済みのこととしている。
- (ロ) 英語のテストを行うこともある。
- (ハ) 欠席しないこと。欠席の多い者は、3年次末で止めてもらうか、卒論をパスさせないことがある。

### 麻田教官担当研究指導

- (1) 国際経済学・理論経済学の理論・政策の諸問題を適宜取上げる。

- (2) 第1年度(3年次生)は英語の専門書を輪読し、原書読書力を養なう。
- (3) 第2年度(4年次生)は、学生各自の選んだ個別テーマについて指導し、卒業論文として仕上げさせる。

### 足立教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

国際金融にかんする諸問題………国際通貨制度、国際金融為替市場の実態および外国為替市場取引の理論と実際

#### 2. 指導要領

- (イ) 全般 商科大学の卒業生として恥かしくないだけの国際的視野をもつことに重点を置く。
- (ロ) 3年次 国際金融の基礎理論と実際
- 4年次 個別の研究指導(ユーロ・ダラー、金問題、SDR、先物為替など)および卒業論文。

#### 3. 使用テキスト

- (イ) 3年次 講義のはじまりに指示する。
- (ロ) 4年次 プリンストン大学の国際金融双書などを用いる。

#### 4. 申込み条件

- (イ) 語学力を有する者
- (ロ) 将来国際企業において活躍したいと思う者

#### 5. 決定の方法語学のテストと面接の上決定。

### 増井教官担当研究指導

- 研究主題、経済変動論の研究
- 指導方針

全般：研究指導の本旨に従い、参加者各個の自発的研究課題を中心にした集中的指導を行なう。

第1年度(3年次) 輪読形式による基本的文献の講読。

第2年度(4年次) 各自個別研究テーマを専攻し、研究成果を討議、発展させる。

経済学概論，経済原論，統計学を履修済みであること。財政学，金融経済学，計量経済学，経済政策および経済変動論を履修すること。技術進歩の経済分析に関心のあるものを優先する。なお，ゼミナールで発言の少ないものは除名することがある。

○ 参考文献，テキスト

参加者の研究目標に則して適宜選択して指定する。本年度は，A. H. Hansen and R. v. Clemence (ed.), *Readings in Business Cycles and National Income*, Norton. 1953; J. A. Schumpeter, *Business Cycles* (金融経済研究所訳『景気循環論』有斐閣，E. F. Denison, *The Source of Economic Growth in the United States and the Alternatives before Us*, 1962; OECD, *Residual Factors in Economic Growth*, 1968; T. W. Schultz, *Transforming the Traditional Agriculture*, 1967 (邦訳逸見謙三訳『農業近代化の理論』東大出版)等があげられる。

### 松田教官担当研究指導

1. 研究主題：理論経済学第二の学科目に含まれる範囲の経済学（但し「経済学特殊問題」として扱われている主題は除く）
2. 指導要領
  - (i) 全般：主として，実証的経済理論に属する分野の主題についての方法論的訓練を行なうことを主目的とする。
  - (ii) 3年次：経済学における論理展開の初算的訓練と，古典の読解力を養うこと。
  - (iii) 4年次：個別主題についての報告と，サブ・ゼミナールでの輪読による。
3. 使用テキスト  
3年次：Ludwig Wittgenstein; *Tractatus Logico-Philosophicus* (Cf. L. Wittgenstein; *Philosophical Investigations*) を丁寧に輪読することから始める。3年次のサブ・ゼミナールでは，次の書物を読む。

### Léon Walras; *Abrégé des éléments d'économie politique*

4. 申込みの条件
  - (1) 「〔(経済学概論) and (経済原論) の (経済学特殊問題) 〕」を履修済みのこと。
  - (2) 応用数学(解析)，応用数学(代数)を履修済みであることが望ましい。
5. 決定の方法  
簡単な語学の試験と面接による(辞書持込可)
6. 面接・テストの日時・場所  
テスト：12月5日(土)12時30分 於 研究室  
但し，テストを受けるものは事前に届出しておくこと(11月30日迄)
7. その他  
4年次になったときには，3年次のゼミに出席義務が課される。

### 井上教官担当研究指導

- 1 研究主題  
西洋経済史研究。特にそのための基礎理論の習得に力点を置く。
- 2 指導要領
  - (i) 全般 文献の正確かつ厳密な読み方に習熟することは，研究上の大前提である。銘記されたい。なお，卒業論文のテーマは遅くとも3年次末までに決定するよう指導する。
  - (ii) 3年次 『資本論』研究。第1巻から。
  - (iii) 4年次 後に指示する。
- 3 その他  
不断の，また不屈の学問的精神と努力を期待する。

### 月望教官担当研究指導

1. 研究主題：市場と計画—経済編成の比較体制論的研究—現代は“混合経済”の時代といわれているように，市場メカニズムだけ

に経済活動をゆだねておくわけにはいかなくなっている。市場メカニズムの批判的検討を通じて、これをコントロールする経済編成手段の追求、これがわれわれの総合テーマとなる。

## 2 指導要領

- (イ) 全般：全体を二分し、基礎的講読と応用的講読とする。前者では、マクロ経済学とミクロ経済学に関する知識の体系的整理を行う。
- (ロ) 3年次：上記に関する標準的テキストを各1冊講読する。講読は、当該箇所に関する担当者の研究報告の形で進める。
- (ハ) 4年次：各自の研究テーマの追求とそれに平行する応用的講読が行なわれる。したがって、4年次には、ゼミ参加者は復線型の作業（個別テーマの追求と共通テキストの講読）を押し進めることになり、かなりの力をゼミナールに集中することが必要となる。そのための条件を3年次にすでに整えておくことを希望したい。

## 3. 使用テキスト（予定）

- (イ) 3年次：Pernbvrq, T. F. & McDovgall, D.M. "Macroeconomics" (P448) (¥1,180),  
Henderson, J. M. "Microeconomic Theory" (P304) (¥1,000)
  - (ロ) 4年次：Tinbergen J. "Central Plannig" (Studies in comparative economico4) (P150) (¥700)  
Köhler H. "Welfare and Planning-An Analysis of (apitalism versus Socialism)" (P175)
- (4) 申込みの条件

上記研究テーマに十分な関心をもち、それにふさわしい学習、単位の履修を行いつつあるもの。数学的操作、英語の力、経済学の基礎知識、現代的関心などについてある程度の水準が要求される。

## 漆崎教官担当研究指導

### 1 研究主題

金融理論および貨幣経済理論（特にケインズおよびそれ以後の貨幣・金融理論）

### 2 指導要領

- (イ) 全般上記の分野に関する原書・論文および参考書の講読、報告、討論を通じて、その理解を深める。
- (ロ) 3年次テキストを中心に各自分担報告、および討論（必要に応じて文献を紹介）
- (ハ) 4年次前半は原書や外国語文献の講読、後半は卒論の内容に沿って個別報告、討論

### 3 使用テキスト

3年次 J. ヒックス（鬼木、江沢訳）『貨幣理論』

4年次 R. F. Harrod *Money*

### 4 申込みの条件

原則として経済学概論、外国語を履習済であること。

### 5 決定の方法

面接による。

## 斎藤教官担当研究指導

### 研究主題

商品の使用価値を中心とした価値並びにマーケティング時代における商品の市場価値を品質要因・価格要因・販売活動要因（広告など）と関連づけて追求する。

### 指導方針

全般 原書や論文を講読し、商品の属性に関する基礎理論を中心にディスカッションを行うとともに商品の品位についての理解を深めるため実験も行なう。

3年次 入門書的なテキストを講読し、商品とマーケティングに関する基本的知識とその応用能力を養う。

#### 4年次 個人テーマによる文献講読と研究指導

##### 使用テキストおよび参考書

L. Abbott: *Quality and Competetion* (1965)

飯島養郎: 品質基礎理論

その他 商品マーケティングに関する参考書

その他 ゼミナール参加希望者は、第2年終了時において語学(第1, 第2外国語)及び基礎教育科目の単位を取得した者。無届欠席をしない者であること。

#### 伊藤教官担当研究指導

1. 研究主題: トップ・マネジメントについての基礎的理論的な研究を行なう。
2. 指導要領
  - (1) 全般: テキストによる講読, テーマ別報告および実地研修
3. 使用テキスト  
経営管理に関する原書(後日選定する)
4. 申込みの条件
  - (1) 経営学原理(旧経営学総論)の履修者であること。
  - (2) ゼミに皆出席すること。
5. 決定の方法  
面接による
6. 面接の日時と場所  
追って掲示によって知らせる。
7. その他
  - (1) ゼミは15名を限度とする。

#### 久野教官担当研究指導

- 研究主題  
会計学(簿記学をふくむ)参考までにいえば、小生自身は会計原則構造論, 簿記・会計発達史, 勘定理論, 貨幣価値変動会計, 経営分析・

・の分野に関心をもっています。

##### ○ 指導方針

全般: 会計に関する基本的知識を与え, かつ応用能力を養なう。

3年次: わが国の「企業会計原則」の批判的研究と外書講読を中心にして基礎理論を修得させる。

4年次: 卒業論文の指導 各人の発表をもとにして討論を行なう。

なお, 論文提出後, オーラル・クエスチョンをし, かつ, 下級生のために卒論発表会を催す。

##### ○ 3年次使用テキスト

A. C. Littleton and V. K. Zimmerman, *Accounting Theory: Continuity and Change* (Englewood Cliffs, N. J., Prentice-Hall Inc., 1962), pp. X+292.

##### ○ その他

熱心にゼミへ参加し, 活発に討論をし, ゼミをもりたてていくことを望む。

#### 石河教官担当研究指導

1. 研究主題: 会計学とくに, 財務会計・商法と会計・原価計算・監査の各部門のうちから, 各自が研究題目を選択すること。
2. 指導要領:
  - (1) 全般
    - (1) 会計学の輪郭の把握と基礎理論の理解のための指導
    - (2) 外国文献(英文)の講読
    - (3) 研究報告ならびに卒業論文作成の指導
    - (4) 研究を媒介としての個人的な接触
  - (2) 3年次: (前半) 2の(1)の(1)のため会計文献(和書)の輪読  
(後半) 1の選択した題目についての研究結果を各自に報告させ, 討論を通じて指導する。あわせて, 外国文献の輪読
  - (3) 4年次: 2の(2)に引続いて各自の研究の指導。外国文献の輪読
3. 使用テキスト

和書は目下選定中。外国書については、合議のうえ決める（価格能力などの点から）

#### 4. 申込みの条件

出席することを条件とする。たとえ所属が決まっても、みだりに欠席する者は、除名する。したがって、積極的にゼミに参加する意志（または自信）のない者は申込みないこと。

#### 5. 決定の方法

面接によって決定する。

### 石原教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

貨幣・信用の理論 株式会社と信用制度の関連性の論理的・歴史的  
研究。

#### 2. 指導要領

(イ) 全般 上記分野に関する原書の講読・報告・討論をつうじて、現代資本主義の問題点を指摘しうるよう基本的な指導をおこなう。

(ロ) 3年次 貨幣論、信用理論の研究

(ハ) 4年次 前期は株式会社と信用制度の研究。金融資本の分析

後期には、卒論を目指しての個別テーマによる研究指導。

#### 3. 使用テキスト

新テキストは、ゼミナリストと教官との協議のうえで決定する。

なお、いままでの使用テキストは次のとおり。

川合一郎『インフレーションとは何か』＜岩波新書＞渡辺佐平『金融論』＜岩波全書＞三宅義夫『金融論』＜有斐閣双書＞川合・川口共編『金融論講座』＜有斐閣＞川合一郎『資本と信用』＜有斐閣＞中村孝俊 其他編『証券経済講座』＜東洋経済＞

当面のテキストとしては A-Feavearyear. The Pound

Sterling A-History of English Money, 2nd ed, 1963.

E, Coppieters, English Bank Note Circulation, 1694—1954,

1955. B. C, Hunt, The Development of the Business Corporation in England, 1800—1867, 1936 G. H Evans, British Corporation Finance, 1775—1850, 1936などを考えている。

4. 決定の方法 面接による。

5. 面接の日時・場所 追って通知する。

### 鈴木教官担当研究指導

研究主題 金融論（広義）

指導要項 3年次報告

4年次卒論指導

テキストおよび参考文献

Harrod. R, Money.

Patinkin. D, Money, Interest & Prices.

Mundel. R, 諸論文

履修要件 英語の力があること。

国際金融にも関心を有すること。

研究意欲のあるもの。

### 篠崎教官担当研究指導

1. 研究主題：経営組織論を中心とする経営学。

2. 指導要領

(イ) 全般：現実の企業経営の実態分析を究極のテーマとしながら、現実への接近方法の習熟に努める。具体的には、経営学説の展開を踏みながら、経営学を構成する基礎理論の学習を経て、現代企業の提起する諸問題の批判的検討へと至る。

(ロ) 3年次：企業行動として現象する資本運動を理解するために「資本論」の読解を手がけ、併せて、経営学を構成する「経済」「経営」「企業」「管理」「組織」などの基礎概念の解明に努める。この過程において、各テーマに関するレポート

の作成とその発表討議が通常のゼミナールの作業内容となる。

- (イ) 4年次：各自の設定する個別研究テーマを確認し、共通テーマ毎のグループにおける各人の報告討議を通して、総合的な現実問題への接近を図る。

### 3. 使用テキスト

マルクス「資本論」(第1部および第2部第1篇第2篇)  
三戸 公「個別資本論序説」森山書店

### 4. 履修条件

経営学原理、社会思想史、経済史概論、経済学特殊問題の各科目を履修済み、又は履修中であることが望ましい。

### 5. その他

サブゼミ、レポート作成と追われるうちに卒業期を迎える危険性大である。工場見学旅行も積極的に行なうから、金とヒマの矛盾を両立的に解決するためには、相当の努力が要求される。

## 和田教官担当研究指導

### 1. 研究主題

職業と不適応—特定の職種と特定の行動障害の間に或る程度の相関があることをみきわめ、そこに内在する病因を社会病理学的視野から追跡する。

### 2. 指導要領

- (イ) 3年次前半—研究の前提として異常心理学に対するパースペクティブを持ってもらう。
- (ロ) 3年次後半—特定の疾患単位を選び(本年度はアルコール嗜癖)その専門的な知識を吸収する。
- (ハ) 4年次—各自一定の職種を選び、医療機関、各種施設、会社等の調査を並行させながら、発病の機序に介在する要因を考察する。

### 3. 使用テキスト

- (1) 3年次前半—, Ohmer Milton: Behavior Disorders,

西丸四方：精神医学入門他。

- (ロ) 3年次後半— David J. Pittman et al. : Society, Culture and Drinking Pattern 他。

(ハ) 4年次—各種雑誌論文。

4. 申し込みの条件 英語が早く読めること。独、仏、露いずれかの雑誌論文がある程度読めること。

## 田村教官担当研究指導

1. 研究主題：イギリスにおける近代保険の生成過程に関する経営史的研究

### 2. 指導方針

(イ) 全般：自主的研究態度を尊重し、かつ要求する。

- (ロ) 3年次及び4年次前半：テキストの輪読  
4年次後半：個別研究の報告・討論

### 3. テキスト

Supple, B., The Royal Exchange Assurance, A History of British Insurance 1720—1970, London, 1970  
Dickson, P. G. M., The Sun Insurance Office 1710—1960, London, 1960

水島一也『近代保険論』千倉書房, 昭和36年

近藤文二編『保険の基礎理論』千倉書房, 昭和45年

## 戸島教官・清水川教官担当

1. 研究主題 Computer Science, なかでも、とくに、Compiler に関する理論と技術。

2. 指導要領 最終的には Compiler を実際に作ることを目標とする。

### 3. 参考文献

F. R. A. Hopgood; *Compiling Techniques*, Macdonald, 1969.

P. Z. Ingerman; *A Syntax-Oriented Translator*, Academic Press, 1966.

井上謙蔵；コンパイラ・コンパイラ（コンピュータ・サイエンス・シリーズ），産業図書，1970.

岸田孝一；システム・プログラム入門，日本経営出版会，1969.

田中一・柄内香次・宮本衛市；コンパイラ（数学ライブラリ22），森北出版，1971.

中田育男；コンパイラの技法，1970.

林達也；電子計算機のシステムプログラム（電算機講座2），産報1970.

ソフトウェア技術（特集：コンパイラ），第3巻第3号（1971年3月）

## 管理科学研究指導Ⅱ（古瀬教官担当）

### 1. 研究主題 経営システム

### 2. 指導要領

(イ) 全般；経営管理組織（会計システムを含む）の分析と設計を，システム論の立場から研究・指導する。

(ロ) 3年次；テキストを使用し，読書会形式で行なう。

(ハ) 4年次；各自研究テーマにつき報告，討論を行なう。卒論作成。

### 3. 使用テキスト（3年次）

Kast, F. E. & J. E. Rosenzweig, "Organization and Management, a Systems Approach", 1970, McGraw-Hill, ¥4,380

### 4. 申込みの条件

特になし

### 5. 決定の方法

各教官当り学生数があまり不均等になった場合は，面接によって調整する。

### 6. 面接の日時・場所

全学共通説明会において説明する。

面接を行なう場合の日時は改めて通知する。

## 管理科学研究指導Ⅱ（沼田教官担当）

### 1. 研究主題

① システムの最適な使用を主題とするオペレーションズリサーチ（OR）

② システムの構成，解析，設計を主として扱うシステム工学（SE）

③ ORの手法の範囲は心ずしもおさまらないシステムの動的な姿を扱うインダストリアルダイナミック（ID）の3分野を概観し，これらに共通する「ものの考え方」を採ること。

### 2. 指導要領

(イ) 全般 ① 厳密な思考力を養うこと。

② 広い視野からものを見ること。

③ 先入観にとらわれない思考力を養うこと。

(ロ) 3年次 テキストを決め順番に発表

(ハ) 4年次 なるべく早期に各自のテーマを決め卒論を作成する。

### 3. 使用テキスト

テキスト；未定

参考書；システム工学方法論，A.D.ホール，熊谷三郎訳，共立インダストリアルダイナミック入門，板倉省吾，日経新聞社  
オペレーションズリサーチ宮川公男，春秋社

### 4. 申込みの条件

通常の年限で卒業の見込みのある者

### 5. 決定の方法

面接の上総合的に判断して決める。

### 6. 面接の日時・場所

掲示で通知する。

## 加藤教官担当研究指導

### 1. 研究主題

日本の労働判例研究および比較法研究

### 2. 指導要領

- (イ) 裁判例の研究をとおして、法の適用解釈の理解を深める。また、労法関係という社会関係の類型化を試み、この類型と法関係の関連性を研究する。
- (ロ) 比較法研究として、Gitlow, Labor and Industrial Society を講読する。(ドイツ語講義受講者がいないので、ドイツ文献の講読はおこなわない)。
- (ハ) 大塚久雄氏の社会科学方法論について過定研究する。

### 神田教官担当研究指導

### 大谷教官担当研究指導

管  
1  
2  
3  
4  
5  
6

- 1. 研究主題 国際法及び国際機構論
- 2. 指導要領
  - (イ) 全般
  - (ロ) 3年次, 原書講読
  - (ハ) 4年次, 論文作成指導
- 3. 使用テキスト
  - J. Charpentier, Institutions Internationales, Paris, Llaloz. 1970.
- 4. 申込みの条件
  - 第2外国語としてフランス語を履修したもの。
- 5. 決定の方法 面接